



『先生、貧困ってなんですか？』

認定NPO法人自立生活サポートセンターもやい・著

「がんばって働けばなんとかなる?」「どうしてホームレスになるの?」など、12の切り口で日本の貧困問題をわかりやすく解き明かす。(B5判・合同出版・1400円+税)



『間違いだらけの生活保護バッシング』

生活保護問題対策全国会議・編

18のQ&Aで生活保護の誤解がすっきり解消。生活保護制度利用者の声から問題点も明らかに。

(A5判・明石書店・1000円+税)



『朝日訴訟から生存権裁判へ』

生存権裁判を支援する全国連絡会・編

「朝日訴訟」の一番の意義は、その時代のもっとも深刻な問題に対し、最もその被害を受けている患者が主体的に立ち上がったこと。朝日訴訟を現代に活かすための運動は続いている。(A5判・あけび書房・800円+税)



『生活保護から考える』

稲葉 剛・著

第二次安倍政権の下で実施された生活保護基準の引下げの問題点の検証からはじまり、あるべき生活保護制度のあり方を考える。(新書判・岩波書店・720円+税)



『人間裁判 朝日茂の手記』

朝日訴訟記念事業実行委員会・編

朝日茂さん生誕90年にあたる2003年に刊行された。生いたち、闘病の日々、たたかいと、朝日茂さんとの闘いのすべてを掲載。(B6判・大月書店・1500円+税)

すべての人が
等しく尊重される社会のために

『生活保護受給者の生活実態調査2016』報告



「生活保護受給者の生活実態調査2016」の
まとめ

記者会見にあたって

2017年1月17日
長野県民医連

私たちがとりくんだ「生活保護受給者生活実態調査」と「介護保険制度改定影響事例」について報告をいたします。最初に、この記者会見の主旨について総論的にお話しします。

私たちは2年前にも、生活保護受給者の生活実態調査を行い、結果を発表しました。その主な特徴は次の諸点にありました。

- ① しばしばあるとされる、いわゆる「不正受給」問題を取りあげた一部政治家や一部メディアによる生活保護バッシングのもとで、圧倒的多数の受給者が、人間としての尊厳も心も大変傷つきながら暮らしている。
- ② 生活保護受給のきっかけは、「病気」「失業」「会社倒産」などが複合的な要因によるものであり、「自己責任」ではどうにもならない、誰にも起こりうる問題である。
- ③ しかもその生活実態は、「健康で文化的な生活」とはいえない悲惨なものである。それが病気のさらなる悪化につながっている。
- ④ 多くの受給者が、隣近所のつきあいや冠婚葬祭に関わることができず、社会的に孤立状況にあり、それが健康悪化はもちろん、生きる望みの喪失にもつながっている。

これらをふまえ、私たちは国や地方行政に対して、日本国憲法の第13条や第25条にそって、社会保障制度と生活保護行政を拡充すべきであることを切に求めました。

それから2年経ちましたが、今日報告する調査結果で明らかなように、事態は好転するどころか、その深刻さが増しています。

世界有数の経済力を誇る日本で、いま、世界有数の貧困と格差が進行しています。貧困率16.1%、すなわち国民の6人に1人が貧困状況に陥り、いわゆる中間層が疲弊し、人口比率ではきわめて少数の富裕層に富が集中しています。働いても生活保護基準以下の生活を余儀なくされているワーキングプアの拡大とともに、生活保護制度の現状は、貧困問題の焦点になっていますが、「いのちと暮らし」の危機に対処すべき社会保障制度は、拡充とは正反対の方向で改変されています。私たちはここに、問題の核心があると考えます。

国による社会保障制度の改革の内容は、お配りした資料等に譲りますが、少なくとも次の点については、ここで皆さんに訴えたいと思います。

- ① 高齢者を中心に、医療でも介護でも大幅な窓口負担増や保険料増が強制されている。
- ② 一方で「保険あって給付無し」と言わざるを得ないような給付の抑制が図られている。
- ③ そのなかで生活保護制度ではこの間、生活扶助基準や冬季加算などが連続的に引き下げられた。
- ④ 医療費削減を目的とした病床数削減と病床機能再編などの医療供給体制の改革が行われている。
- ⑤ これらを、法律改定とともに、診療報酬・介護報酬改定によって医療機関・介護事業所に強制し、経営の悪化と医療・介護従事者の労働条件の悪化をもたらしている。(介護制度改

革とその影響については、このあと具体的に報告する)

- ⑥ こうした改革の理念の中心に「自立・自助」「自己責任」が据えられ、国民の生存権・健康権と国による保障の責務を謳った憲法25条の「解釈改憲」が実行されている。

今回の調査でも、実際の受給者から、「いのちの叫び」ともいうべき声が寄せられました。

「我慢していると思うとしんどくなるから自分で生活水準を下げて『自分にはこの程度の生活が相応しいんだ』と思うようにしている」

「どうして減らされたかわからない。娯楽費用を使うと怒られる。部屋に閉じ込められている感が強い」

「生活保護を受けている人が、受けたくて受けている人ばかりではないとわかってほしい。いやだと思っても生活が送れずやむを得ず世話になっている。負い目も感じる」

「3食きちんとおかずとご飯を食べたい。ふつうの生活がしたい。人間として扱ってもらっていない。冬は特に大変。何かあればすぐにお金を差し引かれてしまう」

これらの思いは、ぜいたくで独り善がりでしょうか。人間として、きわめて当然の悩みであり願いではないでしょうか。

私たちはこれからも、多くの人々と力をあわせて、すべての国民が「個人として尊重され」、「生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利」が「立法その他の国政の上で、最大の尊重」(憲法第13条)のもとに実現することをめざして行動していきたいと思えます。



調査結果について

◆長野大学・鈴木忠義准教授

長野県民主医療機関連合会によって実施された「生活保護受給者の生活実態調査2016」に関して、今回の調査結果から示唆されることについてコメントを述べたい。

本調査は県内の医療機関を受診している生活保護受給者に対する聞き取り調査として継続的に取り組まれている。今日における「貧困」は見えづらく問題が潜在化しやすいといわれているなかで、長野県内における生活保護受給者の生活実態を明らかにしており、リアルな実態を知るうえで貴重なデータを提供している。

なお、私自身は調査の実施に関与していないことから、本コメントは外部の立場からの個人的な見解である。

1. 本調査から見える生活実態

本調査の結果から、全体として生活費を極度に切り詰め、余裕のない生活を強いられている状況がうかがえる。特筆すべき特徴として、次のことが挙げられる。

(1) 教養・娯楽にかかる費用の少なさ

教養・娯楽にかけている費用が少ない。回答者の半数以上(97名、53.9%)は月額5,000円未満、中でも0円が44名(25.6%)である。具体的な内訳(自由記述)をみると、「新聞」など生活必需品といえるものも多く含まれている。

(2) 食事内容の不十分さ

1日の食事の内容では、「1日2食以下」または「不定期」が半数弱(84名、46.6%)である。満足する食事ができているかについては、「いいえ」または「わからない」が109名(60.6%)となっており、満足する食事ができていない人が多い。食事内容の事例をみると、全体的に品目数が少なく、「なし」(欠食)も目立つ。糖尿病や高血圧などの疾患を抱えている人も多く、栄養面で特に配慮が必要であるにもかかわらずバランスのとれた食事ができていない実態を垣間見ることができる。

(3) 交流・人づきあいの制限

社会生活の面では、交流・人づきあいが制限されている人が多い。例えば、町内会や老人クラブあるいは地域・学校行事への参加について「あまり参加しない」または「全く参加しない」が152名(84.4%)と多数を占めている。冠婚葬祭への参加についても「あまり参加しない」または「全く参加しない」が117名(65.0%)である。冠婚葬祭や地域の行事等に参加しない理由(自由記述)をみると、費用(町会費、参加費等)が払えないこと、近隣住民や家族・親族との関係性(交流がない、関わりたくない等)への言及が目立つ。

2. 本調査から示唆されること

今回の調査結果は、生活保護制度を利用していながら依然として「貧困」から脱却できていないという矛盾した状況を明らかにしており、社会保障のあり方に対して問題提起をするものとなっている。

前回(2014年調査)の記者会見でも指摘したが、生活保護における「自立支援」には、(1)

「就労による経済的自立のための支援」、(2)「日常生活自立支援」(身体や精神の健康を回復・維持し、自分で自分の健康・生活管理を行うなど日常生活において自立した生活を送るための支援)、(3)「社会生活自立支援」(社会的なつながりを回復・維持するなど社会生活における自立の支援)が含まれる(社会保障審議会福祉部会「生活保護制度の在り方に関する専門委員会報告書」2004年12月15日)。本調査の結果を見ると、回答した生活保護受給者の生活において「就労による経済的自立」もさることながら「日常生活自立」や「社会生活自立」においても制約されていることは明らかである。

この間(2013年以降)の生活保護基準の見直し(「生活扶助基準の見直し」、「住宅扶助基準の見直し」、「冬季加算の見直し」)が検討される際、「一般低所得者世帯」(主に第1・十分位)の消費水準との比較に基づいて生活保護基準額の妥当性が議論されてきた。つまり、「一般低所得者世帯」の生活を目安に「あるべき生活」の姿が考えられてきたのである。しかし、本調査から見える実態は「あるべき生活」といえるのだろうか。このように、生活保護のあり方を考えるうえで、そもそも「最低生活」とは何か、そして本来の「あるべき生活」とは何であるかが問われているのである(鈴木2015,pp.58-59)。

<参考文献・資料>

生活保護制度の在り方に関する専門委員会(2004)「生活保護制度の在り方に関する専門委員会報告書」(2004年12月15日)

鈴木忠義(2015)「生活保護関連予算について－生活保護基準『見直し』の問題点－」『季刊福祉労働』第147号、現代書館、pp.50-59

◆岐阜経済大学経済学部・高木博史准教授

・娯楽費というところで新聞代が多い。「健康で文化的な」生活を送るための新聞がささやかな楽しみになっているような、ささやかな生活の様子がうかがえる。パチンコやギャンブル三昧といったマスコミに報道がいかにも受給者の生活実態からかけ離れたものであるかを改めて感じる。

・間取りの指定?(指示されるのか)

・ケースワーカーの資質の向上を目指すべき。

・貧困化すると受診と買い物ぐらいしか外出しなくなり、孤立化の道を歩む傾向が顕著。

・憲法で保障された権利にもかかわらず、蔑まれたり差別を受けたりしている。この傾向はずっと変わっていない。社会の在り方が問われる。

・描いている望ましい生活はささやかなもの。贅沢したいとは思っていない。

生活保護は、憲法で保障されている「生きる権利」を具体化したものであるのに、なぜこんなに差別をされたり蔑まれたりしなければならないのか。生活保護バッシングは、生活保護に対するスティグマを増大させ、生活保護ボーダー層との分断を加速させる。非正規雇用が4割を超え、ブラック企業が横行し、年金支給年齢も引き上げの議論が行われる中、貧困化の原因は、誰にでも起こりうるリスクである失業や病気、家庭内暴力、あるいは会社の倒産といったものである。自己責任論だけでは解決できず、いかに社会的にこうしたリスクへどう対応していくのかということを考えていかなければならないのではないかと。

生活保護受給者の生活実態調査票 2016

2016生活保護受給者の生活実態調査票

調査日 年 月 日 ()
 調査時間 時 分 ~ 時 分
 調査場所 自宅 ・ その他 ()
 調査員名 ()

(1) 世帯状況について

番号	家族構成	性別	年齢	治療中の疾患(主病)	収入について ・該当する項目に○			
					① 生保のみ	② 年金	③ 親族収入	④ その他 ()
1	本人							
2								
3								
4								
5								

*以下の設問で、通し番号と該当者を一致させて記入してください。
 *身分が学生の方は、番号に○をつけてください。

(2) 通院状況について(家族全員) (1人で複数の医療機関に通院している場合は合計の通院回数)

・通院回数 ①週__回 ②月1回 ③月2回 ④1~2ヵ月に1回 ⑤2~3ヵ月に1回 ⑥不定期 ⑦その他 ()

番号	続柄	通院回数	交通手段	通院にかかる交通費		移送費申請の有無
				①~③(月額)・④~⑦(1回分)		

*①⑦の場合は、① 回・⑦ 回 と記入してください

(3) 住環境について (該当する項目を番号で記入してください)

- ・住居 ①持ち家 ②公営住宅 ③民間借家・アパート ④その他 ()
- ・築年数 ①10年以内 ②11~20年 ③21~30年 ④31~40年 ⑤50年以上 ⑥不明
- ・間取り ①1K ②1DK ③2K ④2DK ⑤その他 ()
- ・家賃 ①1万円未満 ②1~2万円未満 ③2~3万円未満 ④3~4万円未満 ⑤4~5万円未満 ⑥その他 (円)

住居形態	築年数	間取り	家賃(月額)

- ・冷暖房機器 ①主に使用 ②時々使用 ③持っているが使わない(節約) ④ない ⑤故障で使えない

冷房機器			暖房機器				
クーラー	扇風機	他()	エアコン	こたつ	電気ストーブ	石油ストーブ	他()

<家賃負担のある方に質問>

- i) 家賃は保護基準に対して ①基準以内 ②基準以上

<家賃が基準以上の方に質問>

- i) 行政からの転居指導はありますか。 ①あり ②なし
 ii) ①ありの方に質問 → 転居ができない(しない)理由は?
 ①かかりつけの医療機関が近い ②家族が近くにいる精神的に安心
 ③引っ越し作業が一人ではできない ④スーパー・保育園などが近く、車が無くても生活可能
 ⑤身体・精神面において、環境を変えるのが不安 ⑥その他()

(4) 家計について

1. 1ヵ月の食費(世帯分)
 ①1万円未満 ②1万円以上2万円未満 ③2万円以上3万円未満 ④3万円以上4万円未満
 ⑤4万円以上5万円未満 ⑥5万円以上(約 円) ⑦不明
2. 1ヵ月の水光熱費(電気、ガス、水道、灯油など)
 ①5000円未満 ②5000円以上1万円未満 ③1万円以上2万円未満 ④2万円以上3万円未満
 ⑤3万円以上 ⑥不明

3. 生活保護対象外の医療にかかる費用(透析時の食事代、予防接種など)

番号	続柄	内容	費用	
			月	円
			月	円
			月	円
			月	円
			月	円

4. 生活保護対象外の介護にかかる費用(デイサービスやショートステイの食事代、おむつ代など)

番号	続柄	内容	費用	
			月	円
			月	円
			月	円
			月	円
			月	円

5. 連絡手段・通信費について (通信関係費用 円/月額・一世帯)

- ・固定電話 ①あり ②なし
- ・携帯電話の所持について

番号	続柄	携帯電話	モバイル機器	その他()

6. 教養・娯楽にかかる費用について(趣味・映画・旅行・クラブ・サークル・塾・新聞・書籍など)

番号	続柄	目的・内容・費用(月額)など

7. 理美容費

番号	続柄	回数/年

8. 被服履き物費

番号	続柄	回数/年

9. 家具・家事用品で買い替え・修繕が必要なものがありますか ①ある ②ない
 「①ある」の場合→具体的内容を記入してください。

(5) 一日の食事について

1. 回数 (平均 回/日)
 2. 満足する内容、十分な栄養になっていますか。 ①はい ②いいえ ③わからない・どちらとも言えない
 3. 食事についてどんな工夫をしていますか。
 具体的内容

4. 昨日1日の食事内容を教えてください *昨日がデイサービス利用などであれば、それ以外の日について
 朝/

生活保護受給者の生活実態調査報告2016

調査概要

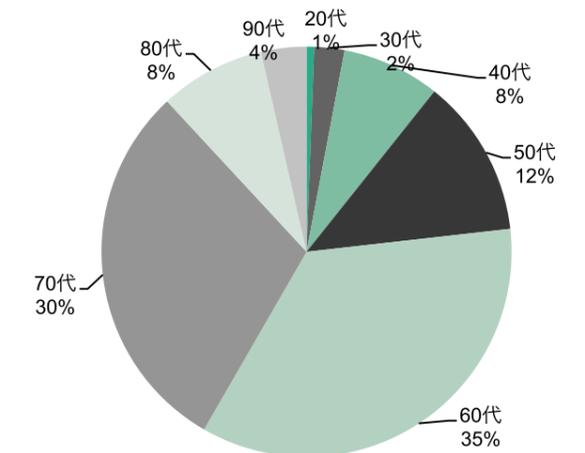
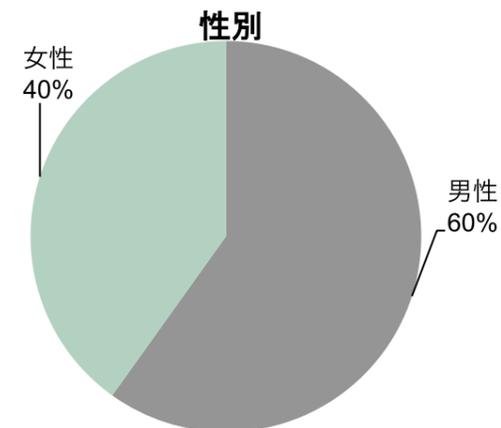
調査期間：2016年1月1日～4月30日
 調査対象：長野県民医連加盟の病院および、診療所・介護事業所の患者の内、生活保護を受給している方。
 調査方法：職員による聞き取り
 調査期間内生活保護受給者：13事業所 793名(把握分)

(1) 対象者・世帯状況について

◆ 調査対象者・性別・年齢

- 調査対象者：180名 (180世帯 260名)
- 性別：男性103名 女性69名 未回答8名
- 年齢：平均66.7歳 最低年齢24歳 最高年齢92歳

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	未回答
調査対象者年齢(本人)	1	4	13	21	59	50	14	6	12



◆ 世帯構成

	単身世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯
人数	124	43	6	3	4

- ▶65歳以上の方がいる世帯と人数： 105世帯 131名
- ▶18歳以下の子どもがいる世帯と人数： 11世帯 19名

(6) 入浴について

1. 一週間の入浴回数

番号	続柄	回数
		回
		回
		回
		回
		回

(7) 支出を抑える(切り詰める)工夫はありますか。 具体的に聞いてください。

(8) 交際・人づきあいについて

1. 普段、交流頻度が多いのはどなたですか(月に数回顔をあわせて話したり、電話したり出来る人)

①子供 ②両親 ③兄弟姉妹 ④親戚 ⑤知人・友人 ⑥家主 ⑦近所 ⑧宗教関係者
 ⑨民生委員 ⑩医療・福祉関係者 ⑪生活保護のワーカー ⑫ケアマネジャー
 ⑬いない ⑭その他()

2. 生活保護の担当者は月何回程度、訪問しますか。(過去1年間の頻度)
 (月 回)

3. 自分の心配・不安なことについて相談できる方はいますか。
 ①いる(関係/) ②いない

(9) 外出の頻度

番号	続柄	回数/月	目的(受診・買い物・仕事・散歩・役場など)

1. 町内会や老人クラブ、地域・学校などの行事に参加していますか。
 ①いつも参加する ②時々参加する ③あまり参加しない ④全く参加しない
 ・可能だったら、参加しない方に理由を聞いてください()

2. 冠婚葬祭の知らせが来たときについてうかがいます。
 ①いつも参加する ②時々参加する ③あまり参加しない ④全く参加しない
 ・可能だったら、参加しない方に理由を聞いてください()

(10) 生活保護費は最低限の生活を保障していると思いますか①思う ②思わない ③わからない

(11) 生活保護受給してよかったこと、悪かったことを教えてください。

よかったこと	
悪かったこと	

(12) 生活保護を申請しようと思ったきっかけ・出来事を教えてください。

(13) 2015年11月から冬季加算が減額されました

1. 昨年と比べて冬季加算が減額されていることを知っていましたか?
 ①事前に福祉事務所から説明があった ②説明はなかったが報道等でした ③知らなかった ④わからず

2. どのような影響が生活に出ましたか?

(14) 今まで、福祉事務所からどのような対応がありましたか? 就労・生活・申請手続きなど何でも。

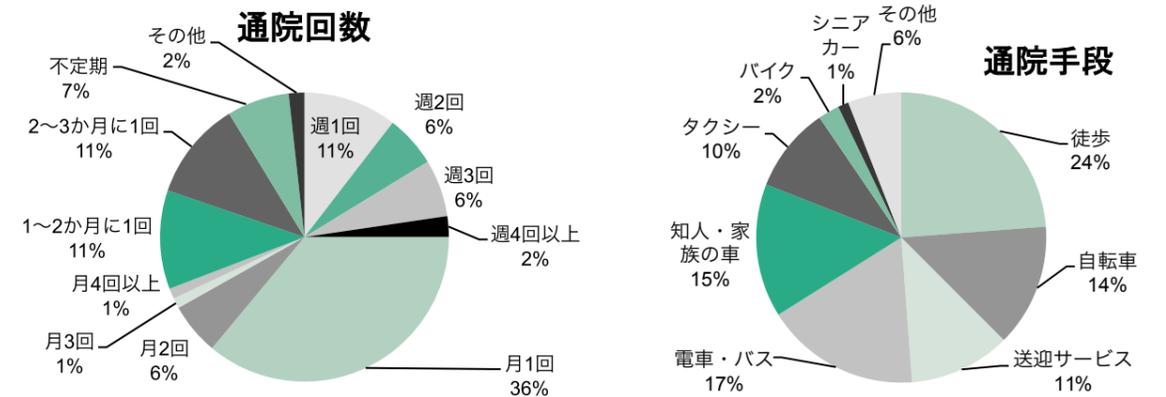
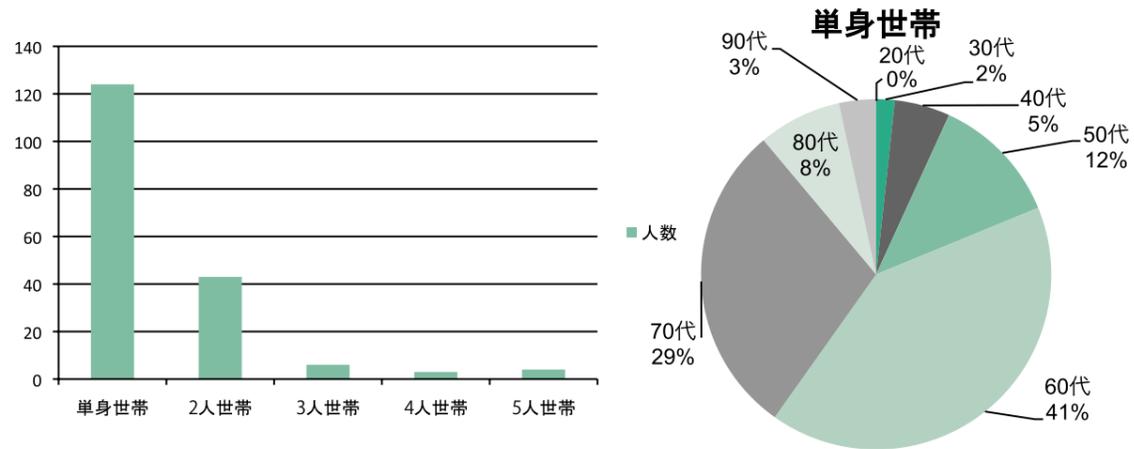
(15) 「こういう生活がしたい」と思うことはありますか? 何に使うお金が足りない、と感じていますか?

(16) その他コメントがあればご記入ください(感想、訴え等)

ご協力ありがとうございました。

*職員のみなさんへ。 調査に取り組みだ感想をご記入ください。

お疲れ様でした。

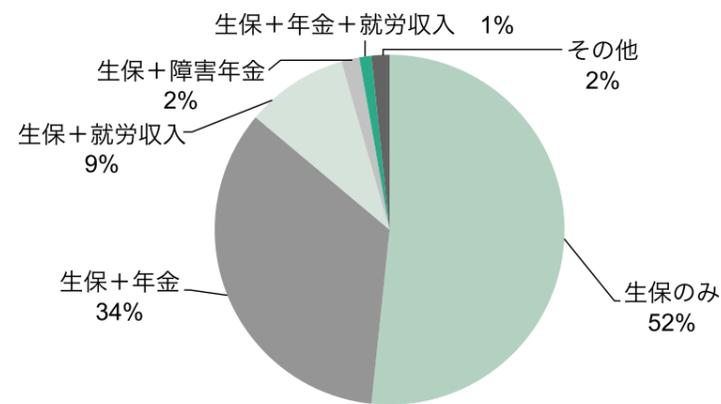


◆ 治療中の疾患

• 糖尿病、高血圧中心に慢性疾患をいくつも重複している。

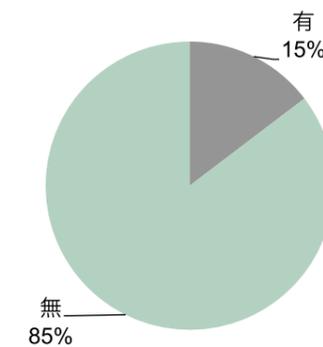
◆ 収入

	生保のみ	生保+年金	生保+就労収入	生保+障害年金	生保+年金+就労収入	その他
人数	93	62	17	3	2	3



◆ 移送費申請の有無

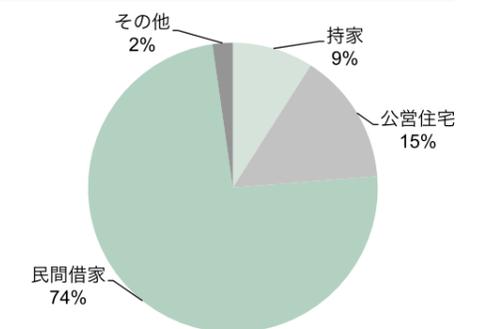
有	無
11	64



(3) 住居環境について

◆ 住居環境① (全体)

	持家	公営住宅	民間借家	その他
合計人数	16	26	131	4



(2) 通院状況について

◆ 通院回数/通院手段

• 通院回数

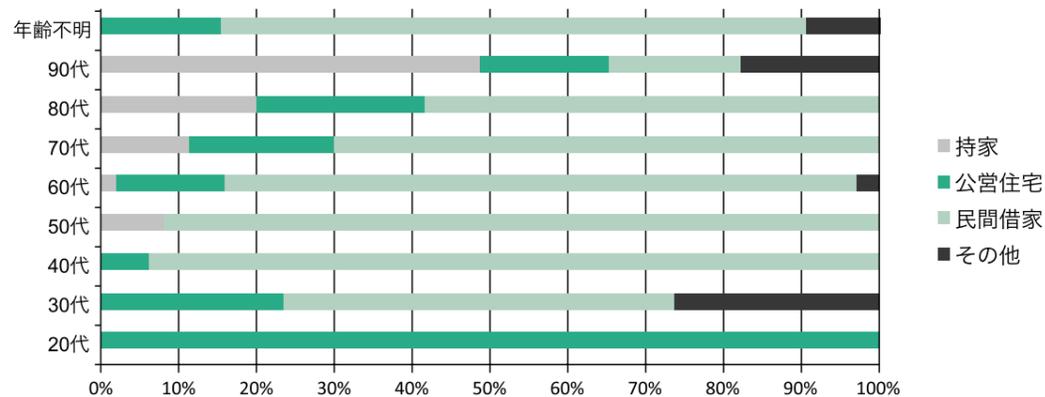
	週1回	週2回	週3回	週4回以上	月1回	月2回	月3回	月4回以上	1~2か月に1回	2~3か月に1回	不定期	その他
人数	18	10	11	4	62	10	2	2	19	19	12	3

• 通院手段

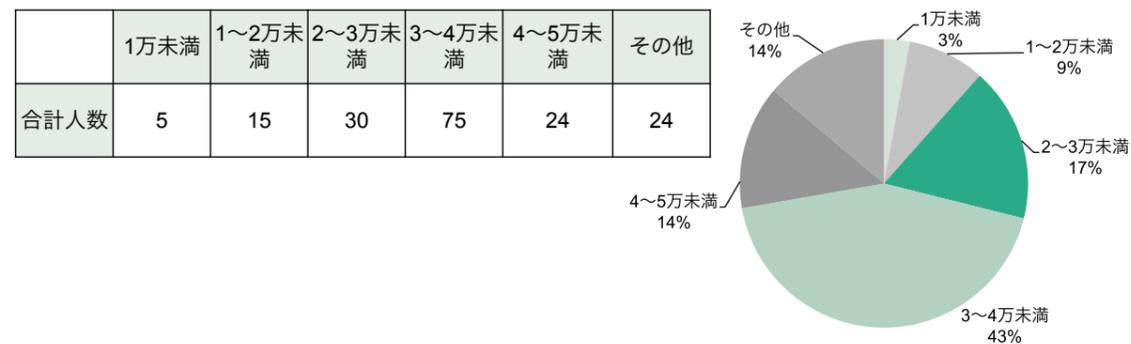
	徒歩	自転車	送迎サービス	電車・バス	知人・家族の車	タクシー	バイク	シニアカー	その他
人数	40	23	19	29	25	16	4	2	10

◆ 住居環境② (年代別)

	持家	公営住宅	民間借家	その他
20代		1		
30代		1	2	1
40代		1	12	
50代	2		19	
60代	2	8	47	1
70代	6	9	33	
80代	3	3	8	
90代	3	1	1	1
年齢不明		2	9	1

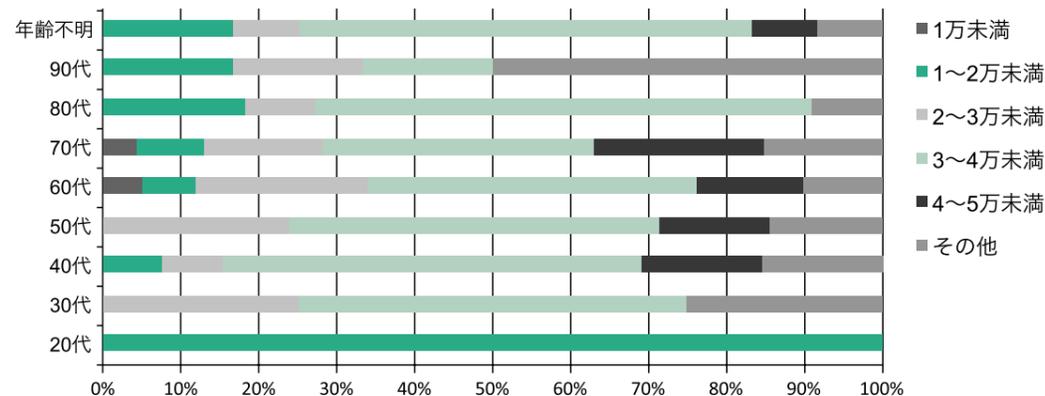


◆ 家賃① (全体)



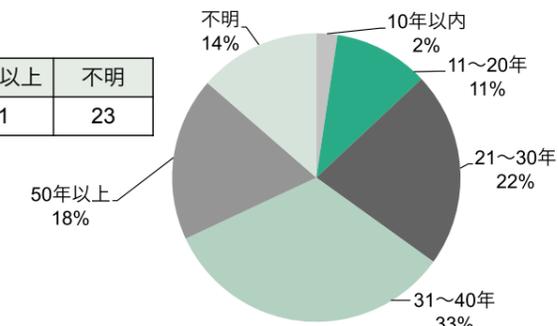
◆ 家賃② (年代別)

	1万未満	1~2万未満	2~3万未満	3~4万未満	4~5万未満	その他
20代		1				
30代			1	2		1
40代		1	1	7	2	2
50代			5	10	3	3
60代	3	4	13	25	8	6
70代	2	4	7	16	10	7
80代		2	1	7		1
90代		1	1	1		3
年齢不明		2	1	7	1	1



◆ 築年数

	10年以内	11~20年	21~30年	31~40年	50年以上	不明
人数	4	18	37	56	31	23



◆ 冷暖房機器所有人数

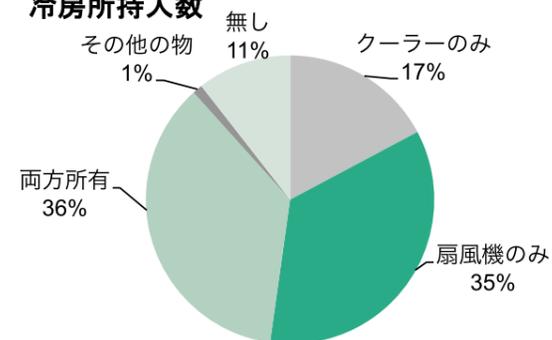
・冷房機器所有人数

	クーラーのみ	扇風機のみ	両方所有	その他の物	無し
人数	31	63	65	2	19

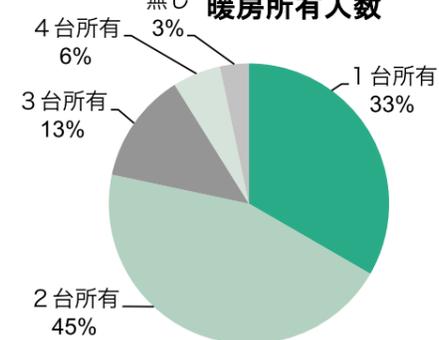
・暖房機器所有人数

	1台所有	2台所有	3台所有	4台所有	無し
人数	60	81	23	10	6

冷房所持人数



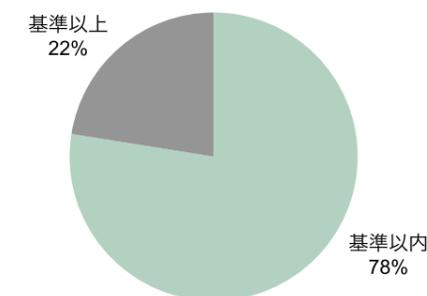
暖房所有人数



◆ 家賃保護基準

・家賃保護基準について

基準以内	基準以上
100	29



◆ 家賃が基準以上の方に質問

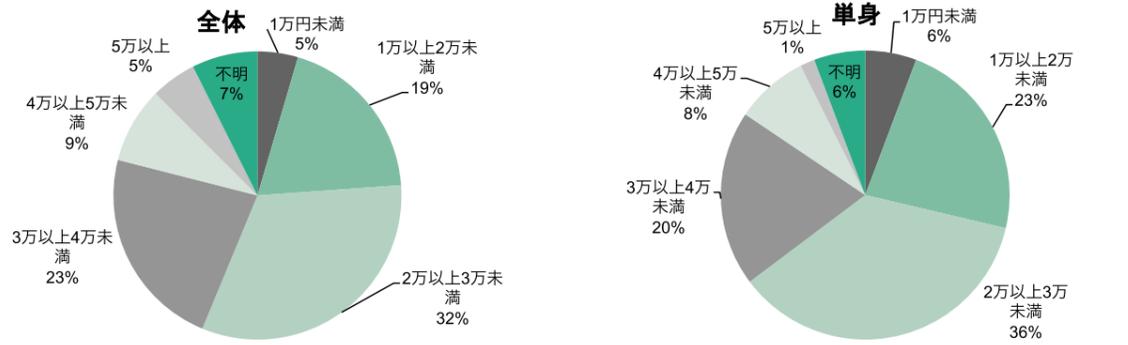
転居ができない(しない)理由 複数回答あり	
かかりつけの医療機関が近い	7人
家族が近くにいて精神的に安心	1人
スーパー・保育園などが近く、車がなくとも生活可能	6人
身体的・精神面において環境を変えるのが不安	1人
その他	6人

その他 自由記載	
スーパーが近い。遠くだと歩けない。夫婦とも病弱で買い物のストレス、疲労あり。	
特例で認められている	
中3の子が高校入学したら引っ越す予定。	
生活保護受給者の理由で不動産屋に断られた(3件)	
部屋数減ると風呂毎日入れなきゃいけない	
引っ越し希望はある(家賃が高い)	
昨年引っ越した	
市住にはずれてしまった。	
紹介された新居は狭かったから	
見つからない。間取りの指定あり。	

(4) 家計について

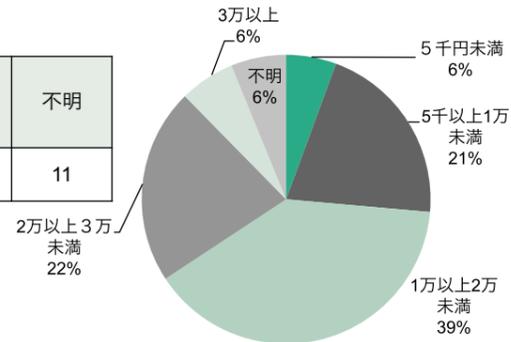
◆ 1カ月の食費

	1万円未満	1万以上2万未満	2万以上3万未満	3万以上4万未満	4万以上5万未満	5万以上	不明
単身	7	28	44	24	10	2	7
2人世帯	1	5	10	13	3	6	4
3人世帯		1	2	1	1		
4人世帯			1	2			
5人世帯					1	1	2



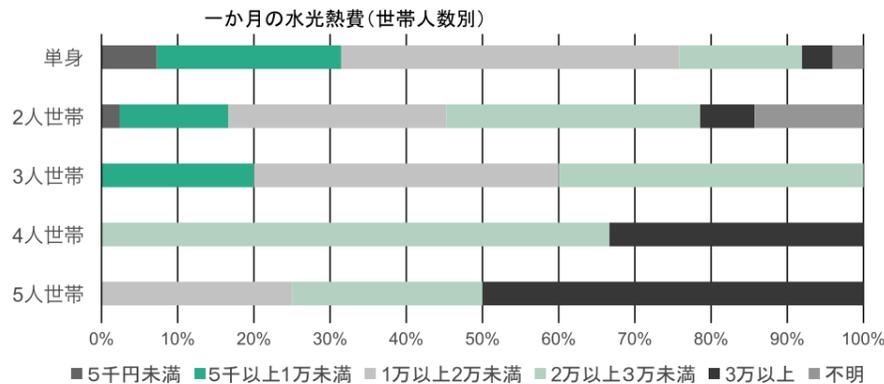
◆ 1カ月の水光熱費① (全体)

	5千円未満	5千以上1万未満	1万以上2万未満	2万以上3万未満	3万以上	不明
人数	10	37	70	39	11	11



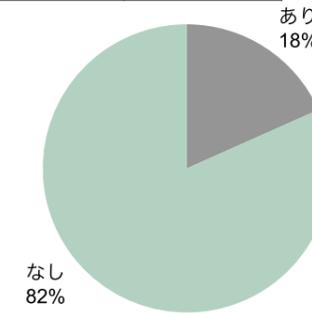
◆ 1カ月の水光熱費② (世帯人数別)

	5千円未満	5千以上1万未満	1万以上2万未満	2万以上3万未満	3万以上	不明
単身	9	30	55	20	5	5
2人世帯	1	6	12	14	3	6
3人世帯		1	2	2		
4人世帯				2	1	
5人世帯			1	1	2	



◆ 生活保護対象外の医療費

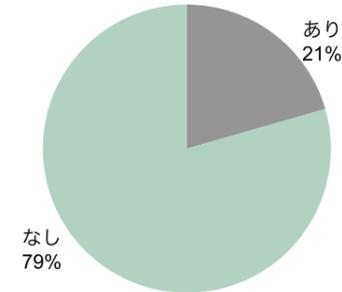
	あり	なし
人数	33	147



医療費の詳細
無(メガネ自費。補助がほしい)
喘息、アレルギーのホルター
インフルエンザ予防接種
市販の風邪薬
かゆみ止め 塗り薬
湿布
病院の食事、おやつ代
入院時のCSセット代
透析時も食事は自宅摂る。
定期診察、薬価
予防接種
外来透析時の食事代
コンタクトレンズ
正露丸、生菜類
自立支援によりほとんどなし

◆ 生活保護対象外の介護費

	あり	なし
人数	37	143



介護費の詳細
デイケア食事代、日用品代
デイ 昼食代
デイ・ショート食事代
オムツ代
尿漏れパッド
デイサービス(要支援2)
リハビリパンツ
就労B事業所昼食費
訪問介護
食事、日用品×4回(生活保護時8月以前)
マッサージ
毎週火・金ヘルパー(食事、掃除)
要介護1

◆ 連絡手段・通信費について

・通信関係費用(月額・一世帯)

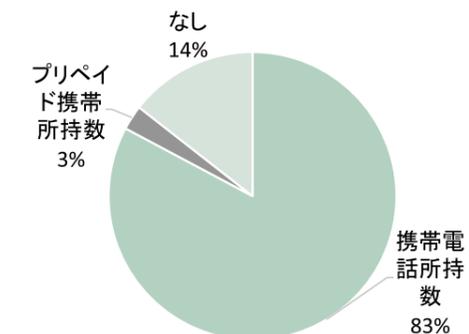
	0円	1千円代	2千円代	3千円代	4千円代	5千円代	6千円代	7千円代	8千円台	9千円代	1万円以上
世帯	2	9	21	17	4	11	1	2	3	1	25

・携帯電話の所持

携帯電話所持数	プリペイド携帯所持数	なし
149	5	26

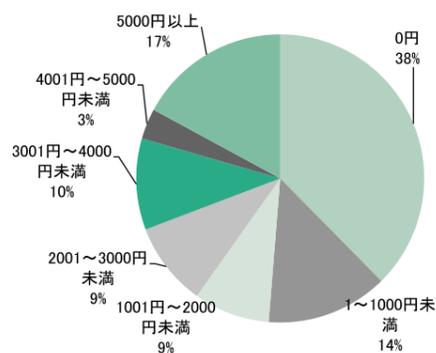
・固定電話

あり	なし
67	91



◆ 教養・娯楽にける費用 (円/月) (趣味、旅行、サークル、新聞、書籍など)

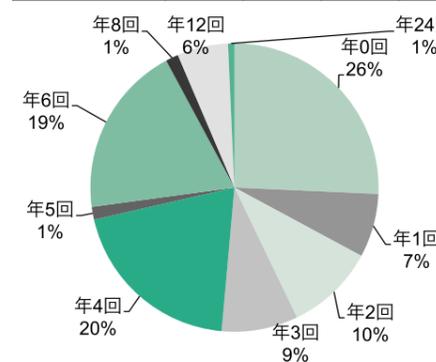
	0円	1~1000円未満	1001円~2000円未満	2001~3000円未満	3001円~4000円未満	4001円~5000円未満	5000円以上
2016人数 (%)	44 (38)	16 (14)	10 (9)	11 (9)	12 (10)	4 (3)	20 (17)
2014調査 (%)	30	13	11	11	17	7	11



0円の方が2014年調査(30%)に比べ増加している

◆ 理美容 お店利用回数

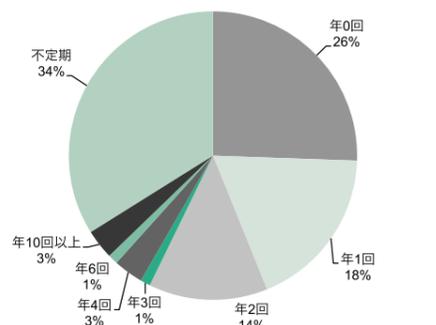
	年0回	年1回	年2回	年3回	年4回	年5回	年6回	年8回	年12回	年24回
2016人数 (%)	36 (26)	10 (7)	14 (10)	12 (9)	28 (20)	2 (1)	27 (19)	2 (1)	8 (6)	1 (1)
2014調査 (%)	10	7	11	10	20	1	25	0	15	1



0円の方が2014年調査(10%)に比べ増加している

◆ 被服買い物回数 (本人)

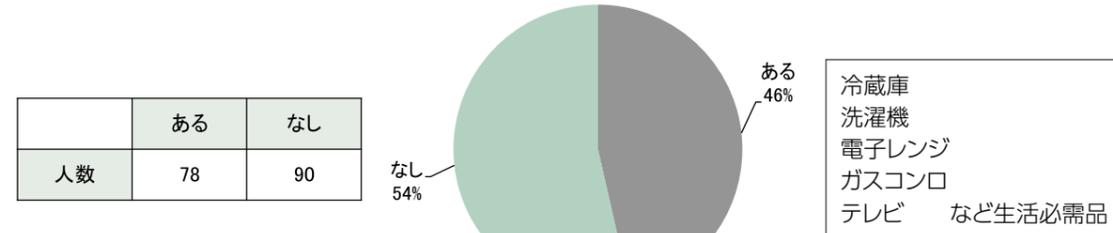
	年0回	年1回	年2回	年3回	年4回	年6回	年10回以上	不定期
人数	46	33	24	2	6	2	6	61



被服について詳細(一部)

ほとんど買わず、友達からもらうことが多い
手持ちの衣服で賄っている
服はお古をもらっている。下着は購入。
下着、靴下は購入。その他服はいただいている。
30年以上同じ洋服を使用。靴は痛むまで履く。
なし (我慢している)

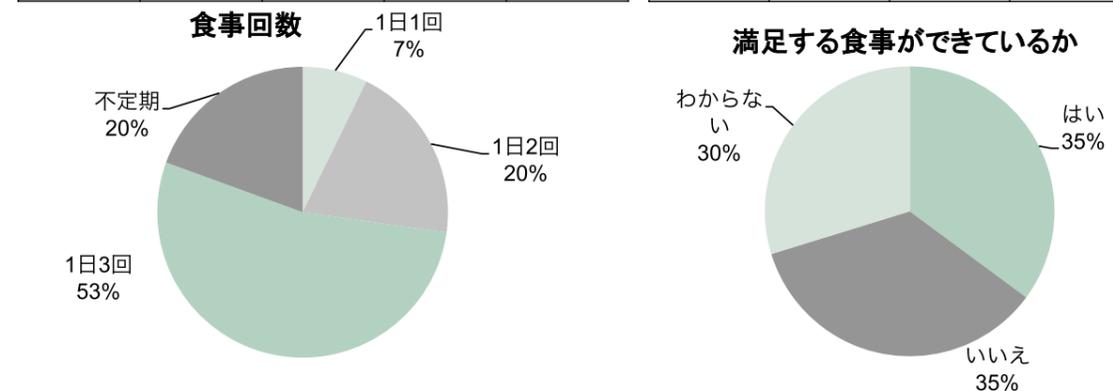
◆ 家具・家事用品で買い替え・修繕が必要なものはありますか



(5) 1日の食事について

◆ 1日の食事について満足する食事が出来ているか

1日の食事について				満足する食事が出来ているか			
	1日1回	1日2回	1日3回	不定期	はい	いいえ	わからない
人数	13	36	96	35	59	59	50



◆ 食事についてどんな工夫をしていますか

食事について工夫している点 (抜粋)

11	安い食材を使う。豚バラ肉、玉ねぎ等、いつも決まったメニュー
34	特になし。食べれば良いという感じ。本当は野菜中心というようにすれば良いのだけれど。
38	仕事終わりに食事をし薬を服用牛丼店でサラダを含むセットで安く。スーパーで半額弁当買う。
59	自分で作る。スーパーでキャベツの葉(一般の人が使わないところ)貰ってくる。
83	ごはんとおかずは簡単なもので食べる。時々ハンバーグを食べて栄養をつける
111	朝はおかずを作るのみ。昼は2人も食べない。夕方はおにぎりを二つほど食べる(食べない時もある)。
114	満足するしかない。
118	あるものを食べられるようにする。反貧困ネットワークでもらったもの。米だけは食いのばしてマヨネーズやしょうゆをかけて食べている。おかずはなし。1日2合を炊いて夕食で食べてしまう。
131	朝の1回しか食べていない。
148	安くあげる為に小麦粉を使う・野草をつむ。ふやかしてかさませる(麺・米)・知人宅で食べさせてもらう
165	月末におかずが足りなくなる。シーチキンにマヨネーズをかけて食べるが多い。1日何回かに分けて食べる。
166	出来合いのものは買わず、自分で調理をしている。山菜など。たくさん使って保存しておく。
177	1日500円で1日1回。お菓子を買っておなかを満たす。山菜、釣ってきた魚。

◆ 昨日1日の食事内容

	性別	年代	疾患	朝	昼	夕	他
11	男	70	糖尿病	卵焼き	目玉焼き		
34	女	60	腰部脊柱管狭窄症、骨粗しょう症		ポテトサラダ、から揚げ ご飯	ポテトサラダ、お味噌汁 ご飯	
38	女	40	糖尿病				マカロニサラダ、 酢豚、惣菜
59	女	70	両変形性膝関節症、甲状腺、眼科	ご飯、漬物、豆腐	ご飯、漬物、豆腐	キャベツの蒸し煮ポン 酢掛け、豆腐	
83	女	70	高血圧	ごはん、ふりかけ	ごはん、ふりかけ	ごはん、ふりかけ	そば
111	女	80	虚血大腸炎、高血圧	卵、鳥のささみ揚げもの トマト、レタス、みそ汁、 ご飯		朝炊いておいたご飯を 使ったおにぎり	
114	男	70	脳梗塞	パン・牛乳		カップラーメン(人からも らった)	
118	男	40	高血圧、偏頭痛、膝痛			じゃがいも、玉ねぎ、な すの調味料で炒め物	
131	男			にんにくのカップラーメ ン、あとはパン。			
148	男	40	頸椎ヘルニア、糖尿病、う つ	水	コーヒー(砂糖入りを氷 らせて食べた)	ご飯・昆布の吸い物・野 草	
165	女	60	慢性腎不全で透析中	シーチキンにマヨネー ズをかけて食べる。	シーチキンにマヨネー ズをかけて食べる。	シーチキンにマヨネー ズをかけて食べる。	
166	男	60	多発脊椎骨折による体幹 機能障害	ごはん、味噌汁、フキの 煮物	ごはん、味噌汁、フキの 煮物	ごはん、味噌汁、フキの 煮物	
177	男	50	慢性腎臓病	100円のハンバーガー1 個	おにぎり1個	食べてない	お菓子(ポテトチッ プス、スナック菓 子)

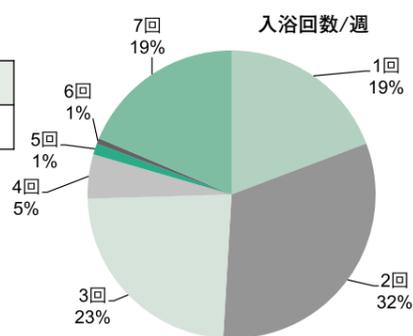
◆ 1日の食事について

- 回数、内容ともに健康的とは言えない

(6) 入浴について

◆ 1週間の入浴回数

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回
人数	31	51	38	8	2	1	30



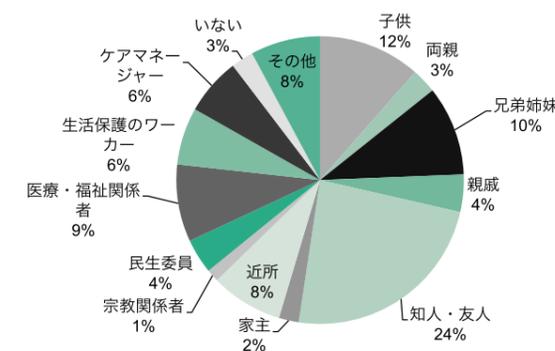
(7) 支出を抑える(切り詰める)工夫

- 食費・光熱費を抑える
- 外出を控える

(8) 交流・人づきあいについて

◆ 交際・人づきあいについて普段、交流頻度が多い方

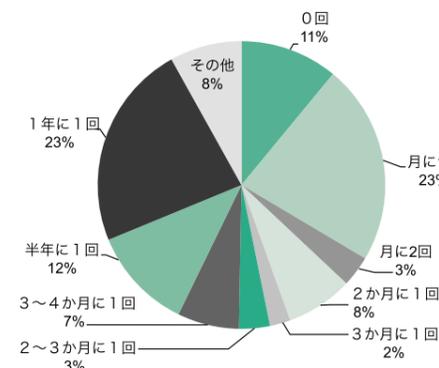
	子供	両親	兄弟姉妹	親戚	知人・友人	家主	近所	宗教関係者	民生委員	医療・福祉関係者	生活保護のワーカー	ケアマネジャー	いない	その他
人数	41	10	36	15	85	8	29	5	14	31	23	23	9	28



◆ 生保担当者の来宅回数

	0回	月に1回	月に2回	2か月に1回	3か月に1回	2~3か月に1回	3~4か月に1回	半年に1回	1年に1回	その他
人数	19	39	6	13	4	6	12	20	40	14

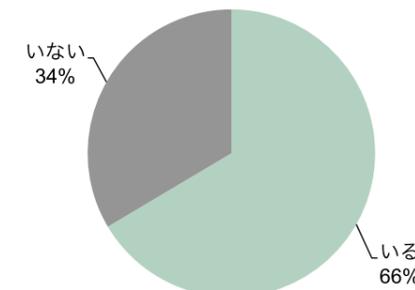
月1回が39人(23%)、
年1回が40(23%)
その他では「たまに来る」や「電話のみ」



◆ 自分の心配・不安なこと相談相手の有無

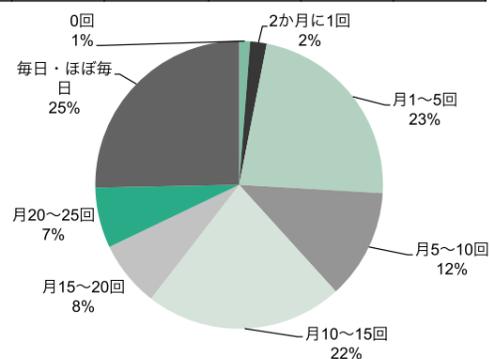
	いる	いない
人数	111	56

34%、56人が相談相手がいないと回答



◆ 外出回数

	0回	2か月に1回	月1～5回	月5～10回	月10～15回	月15～20回	月20～25回	毎日・ほぼ毎日
人数	2	3	37	20	36	12	11	41



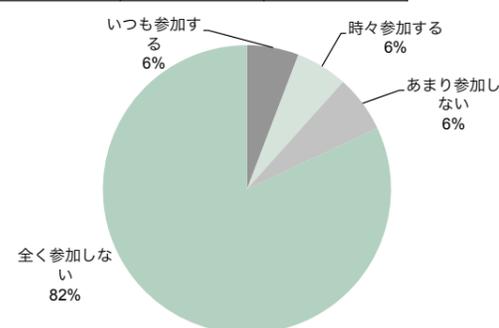
◆ 外出内容（複数回答）

- ・「受診」：80人
- ・「買い物」：86人
- ・「デイサービス」：17人
- ・「散歩」：35人

・社会との関りの薄さを示す結果

◆ 町内会や老人クラブ、地域・学校行事に参加しているか

	いつも参加する	時々参加する	あまり参加しない	全く参加しない
人数	10	10	11	141



◆ 町内会や老人クラブ、地域・学校行事などに参加しない理由

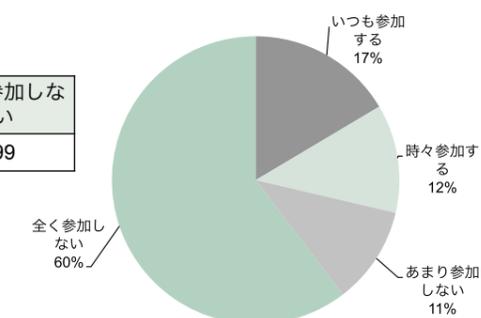
- ・体力的、精神的にも困難
- ・世間の目が気になっていけない
- ・町内会費も払えない、参加費も払えない
- ・もともと地域とのかかわりが無い、連絡来ない

◆ 町内会や老人クラブ、地域・学校行事に参加しているか

- ・生活保護に至るまでに、既に地域との縁もなく、「引け目」を常に感じているため参加できない。それに加え、そうしたところにねん出できる経済的な余裕はないのが現状。

◆ 冠婚葬祭に参加しているか

	いつも参加する	時々参加する	あまり参加しない	全く参加しない
人数	27	20	18	99



◆ 冠婚葬祭に参加しない理由

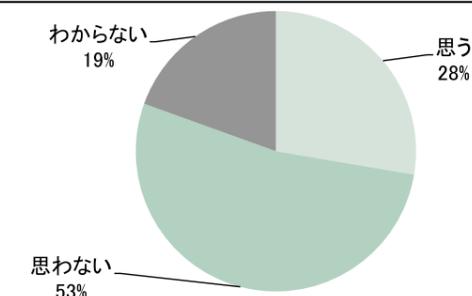
- ・身内とは絶縁状態、つきあいもない、連絡も来ない
- ・お金がない、交通費がない
- ・スーツを持っていない

◆ 冠婚葬祭に参加しているか

- ・「親が病気療養しているが、交通費なく見舞いにも行けない。情けなくなる。親の死に目にも会えないのか・・・」という言葉がすべてを象徴している。
- ・経済的な理由や、それまでの経過の中で、「孤立せざるを得ない」状況が浮かび上がる

(10) 生活保護費は最低限度の生活を保障していると思いますか

	思う	思わない	わからない
人数	44	84	31



(11) 生活保護を申請しようと思ったきっかけ・出来事

- ・(圧倒的多数) 病気で働けなくなった、病気で医療費払えなかった
- ・家庭内暴力・子どもへの虐待で家を出て、行政から生活保護をすすめられた。
- ・年金だけでは足りないから、75歳まで働いていたが、働けなくなった。80歳で申請した。
- ・定年から年金受給までの間、収入がなく、貯金もなくなった。
- ・野宿をしていて反貧困ネットワークと出会って申請した。
- ・病院のソーシャルワーカーに勧められた。
- ・店の倒産、会社あの倒産で収入失う。借金も抱えた。

◆ 生活保護を申請しようと思ったきっかけ・出来事

- 稼働年齢層は、圧倒的に病気で働けなくなったことが理由。会社倒産等もあり。高齢者世帯では、低年金で数年持ちこたえていたが、病気で医療費支払い困難や貯蓄の底つきが理由。個別には、病院のソーシャルワーカーはもちろんだが、反貧困ネットワークの活動、行政の生活困窮者支援で生活保護につながっているケースがある。

(12) 生活保護受給して良かったこと、悪かったこと

◆ 生活保護受給して良かったこと

- 圧倒的な声として「医療にかかれるようになったこと」
- 失明せずに済んだ、命が助かった など。
- 「生活が守れる」「生活ができる」「フライパンが買えてよかった」「ホームレスよりはまし」「何とか生きていける」「生活保護がなければ死んでいた」

〈考察〉
圧倒的な声からは、「死なずに済んだ、生きていける、病院にかかれる」という、とりあえず命につながったという、それまでの過酷な生活状況・人生が反映されている。

◆ 生活保護受給して悪かったこと

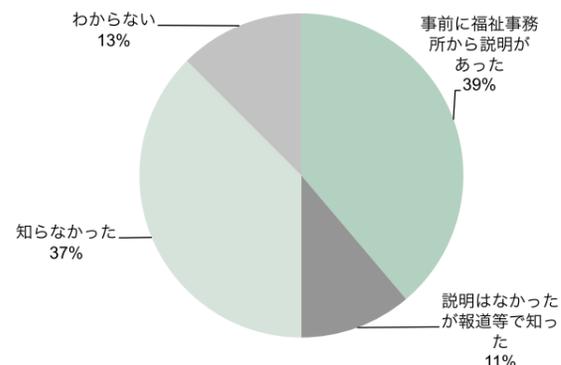
- まわりの視線が気になる、肩身が狭い、気持ちが沈む、嫌悪感、恥ずかしい、みじめ
- マスコミでたたかれ、金額も減らされ、つらい。差別的言動をされた。人権がなくなった感じ
- (福祉事務所の) 監視の目が厳しい、見張られている感じ、窮屈。対人恐怖になってしまった。
- 「生かさず殺さず」

〈考察〉
生活保護行政(マスコミ含めて)の在り方がそのまま反映している。厳しい生活を強いられ、つらいそれまでの経過もあるうえに、まわりの作られた「目」が気になり、屈辱感を強えられる。そこに、福祉事務所の厳しい対応が輪をかけて追い込むケースもみられる。

(13) 2015年11月からの冬季加算減額について

◆ 昨年に比べて冬季加算が減額されていることを知っていましたか？

	事前に福祉事務所から説明があった	説明はなかったが報道等で知った	知らなかった	わからない	不明
人数	59	17	57	19	28



◆ どのような影響が生活にでましたか？

- 他の生活費を切り詰める
- 生活がギリギリになった 灯油代
- 暖房を節約(がまん)

(14) 今までの福祉事務所の対応について (複数回答)

- 何の対応もない 43人
- 最低限の連絡・手続きのみ(年に1~2回しか来ない、頼りにできない) 38人
- 指導の通り対応をしないと生保を打ち切ると言われた(仕事、転居、運転などの指導のみで協力なし) 20人
- 相談をしながら対応してくれる 20人
- 担当者によって対応が違う 4人
- 未回答・その他 55人

◆ 今までの福祉事務所の対応について②

- 年金支給の時に、仕事増やせば保護打ち切りますよと言われた(1年前)、お仕事のことも市役所に相談していく。
- 初めの担当の人に「仕事する気がなければ生保を止める」と脅された。2番目、3番目の担当はとて素晴らしい人で体のことを気にかけてくれた。「まずは体を治しましょう」と言われた。
- これと言って…。生活がギリギリで相談に行っても、みんなこの中で生活しているんだからやってもらわないと困ると帰されてしまうだけ。これ以上切り詰めるところはないのに…と、頼りにはできない様子。
- 数回来ただけで特に話や相談はせず。担当が変わるときの挨拶。十分な説明をしてもらえない。ケースワーカーの物言いがひどい。上から目線。「私が行ったことは正しいんです！」

◆ 今までの福祉事務所の対応について

- 個々のケースに充分に対応されていない。
- 指導が中心で、親身に相談対応されているケースは少ない。
- 未回答が多いが、対応がされず回答しようがないものも含んでいるか？

(15) こういう生活がしたい① (複数回答)

- 生活費(衣食住など最低限の範囲、支給額を増やして欲しい) 45人
- 車・家電類(個別に給付のないもの、家電を買い替えたい、車がないと生活が大変) 10人
- 趣味活動・楽しみ(嗜好品、健康、旅行など) 32人
- 家族や他者との交流(冠婚葬祭を含む) 7人
- 特になし(満足、特記なし) 24人
- 特になし(きりが無い、言えない、申し訳ない) 22人

- 今までの生活に戻りたい(生活保護を受ける前、自立したい) 16人
- その他・未回答 24人

◆ こういう生活がしたい②

- とにかく迷惑をかけないで死にたい。
- 生保には負い目がある。貰った金額で生活していくことで良い。しいて言うなら温泉にでも行きたいが。
- 乳幼児に対するおむつ代、服、ミルク代を考えてほしい。
- 日常の生活をしたい。人間として扱ってもらっていない。冬は特に大変。何かあればすぐにお金を差し引かれてしまう。
- ない。拾った命だから。
- 一般的な生活(ふつうに食べれて楽しみが持てれば)がしたい。特に3食きちんとおかずとご飯を食べたい(一般的なふつうの生活がしたい)。

◆ こういう生活がしたい

- 衣食住という生活費に不足を感じている人が非常に多い。最低生活を保障できていない状況を感じる。
- 生活費が精一杯で趣味や楽しみに回すお金がないということが、自由記述の内容からも確認できた。支給のない車や家電などから、生活の不便さを感じている人も多い。
- 特になしも多いが、「満足しているからない」という方は少なく、「仕方ない」「言えない」「きりがいい」など、本心では生活のしづらさを感じつつも「世話になっている」等の想いから言い出せない人も多い。
- 生活保護を受けながらの生活に圧迫感を感じ、「早く生活保護から抜け出したい」「今までの生活に戻りたい」という想いを感じている人もいる。

※「こうした生活をしたい」と具体的なイメージを持てている回答は少なく、現状の生活で足りていない部分への回答がほとんどであった。

(16) その他コメント① (複数回答)

- 将来が不安 14人
- 今の生活に満足していない・社会に疑問を感じる 41人
- 生活保護制度を含む社会保障の改善を求める 32人
- 調査した職員のコメント 5人
- その他・未回答 88人

◆ その他コメント②

- 受給額をこれ以上減らされると本当に生活に困ってしまう。まだ若いので生保を抜きたいとは思っているが、これ以上減らされると不安ばかりで精神的に気持ちが沈んでしまう。
- 市役所の担当に言いたいことがあっても言えない。頭を下げている立場なの

で嫌われたくない。困るから。月10万5千円生活保護でもらっているが足りない。もっと(あと1万くらい)増やしてもらいたい。家賃4万円、光熱費3万円、食費2~3万円、薬代7~8千円、使ったら手元に残らない。(塗り薬、貼り薬は病院のものが合わないので自分で薬局で購入している)火災報知機?が付いているが電池が切れている。電池を買うお金もない。

◆ その他コメント③

- 我慢していると思うとしんどくなるから自分で生活水準を下げて「自分にはこの程度の生活が相応しいんだ」と思うようにしている。
- 投げやり。どうにでもなれば良いと思っている。人とのコンタクトを好まない。世間がうざい。金にしばられない世の中にしていくべき。俺はまだいいほう。1人でのうのうとしているから。
- 生活保護を受けている人が、受けたくて受けている人ばかりではないとわかってほしい。いやだと思っても生活が送れずやむを得ず世話になっている。負い目を感じる。もう少し生活のことを考えて利用しやすいものになると良いと思う。

◆ その他コメント④

- 福祉の方へ言いたい!! どうして減額になったか、どうして減らされたかわからない。娯楽費用を使うと怒られる。部屋に閉じ込められている感が強い。連絡方法がない、連絡しないと怒られることも多い。
- もうちょっと生活保護費を増やしてほしい。食べるものも減らしているくらいだから余計に。一日一日ただ生きていて…。生活保護になってから人とのつながりが全くなかった。生保と聞くだけでみんな離れていく。裕福な生活から一転、まさかこんな生活をする事になるとは思わなかった。
- 子供が小学生であれば制服もなく、いろいろおさがりのなことで何とかなるが、中学生になると制服になり、カバンなどもどうしていいか悩む。高校ぐらいはいつてもらいたいと思っっているがお金を心配する。母は90歳葬式があったらできるか悩んでいる。相談する相手もない。働きたくても車もない。年齢的には仕事もない。

◆ その他のコメントについて

- 今の社会、生活に不安や疑問を感じている人、最低限度の生活に何らかの不備を感じている人が圧倒的に多い。生保制度そのものや社会保障全体に改善を望む声も多くあり。
- 中には真の想いを語った内容もあった。

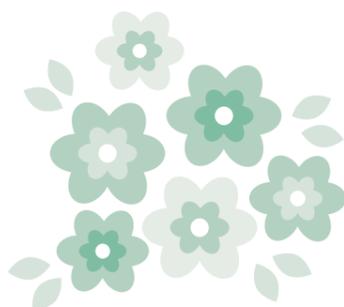
自由記述(抜粋)

※数字は回答者番号

治療中の疾患			
1	脳梗塞後遺症（左片マヒ）、糖尿病	43	高血圧、慢性心不全
2	糖尿病、糖尿病性網膜症	44	リウマチ、気管支喘息
3	胃潰瘍、胸部疾患	45	糖尿、高血圧、心臓、骨粗しょう症、眼科
4	脳梗塞後遺症	46	肺気腫
5	脳梗塞後遺症、腹部大動脈瘤	47	糖尿病、腎症、緑内障
6	脳梗塞後遺症、右上腕骨粉碎骨折後	48	肺がん術後
7	拡張型心筋症	49	狭心症（術後）、糖尿病
8	胃がんで全摘、神経痛	50	糖尿病、ニコチン依存症、神経症
9	狭心症 他	51	
10	不整脈、非弁膜症性発作性心房細動	52	糖尿病
11	糖尿病	53	心臓病、高血圧、不整脈
12	慢性維持透析、大腸癌（人工肛門）	54	心臓病、脳梗塞
13		55	心臓病（心筋梗塞術後）、糖尿病
14	以前整形外科にかかっておられた	56	ヘルニア、高血圧
15	高脂血症、精神科	57	中央病院整形、皮膚科、眼科
16	狭心症（心臓カテーテル手術後）、高血圧、白内障	58	2型糖尿病
17	脳梗塞、心不全	59	両変形性膝関節症、甲状腺、眼科
18	心不全、多発性骨髄腫	60	喘息、腰ヘルニア
19	糖尿病	61	心臓で通院中
20	脳梗塞、貧血、心不全	62	糖尿病
21	心不全、脳梗塞、変形性腰椎症、膝関節症、耳鼻科、眼科	63	脳出血後右片麻痺
22	認知症、高血圧、糖尿病	64	糖尿病、糖尿病網膜症、閉塞性動脈硬化症
23	糖尿病	65	高血圧、耳鼻咽喉科
24	脳梗塞、糖尿病、腎不全	66	頸髄症、腰部脊柱管狭窄症
25	糖尿病、レビー小体型認知症	67	心疾患（心臓ペースメーカー）
26	脳血管疾患	68	整形外科
27	肝硬変	69	循環器、整形
28	脳出血	70	心疾患
29	腰部脊柱管狭窄症	71	内科、皮膚科
30	糖尿病	72	膀胱癌
31	糖尿病	73	
32	整形外科（手足のしびれ）	74	急性胆のう炎術後、うつ病
33	糖尿病	75	糖尿病
34	腰部脊柱管狭窄症、骨粗しょう症	76	糖尿病、透析
35	糖尿病、アルコール性肝機能障害、不安障害	77	糖尿病、整形（下肢つけ根）
36	下腿骨骨折、統合失調症	78	右肩骨折、不眠
37	糖尿病、変形性膝関節症	79	心房細動
38	糖尿病	80	糖尿病（インスリン治療）
39	糖尿病	81	うつ病、C型慢性肝炎
40	心不全、変形性膝関節症	82	胃潰瘍、精神疾患
41	気管支疾患、気管支喘息疑い	83	高血圧
42	心臓（狭心症）	84	

治療中の疾患			
85	C型慢性肝炎、他院精神科	128	脳梗塞後 高血圧
86	特発性拡張型心筋症、糖尿病	129	認知症
87	右卵巣内膜症性のう胞	130	高血圧、心不全
88	心不全、C型肝炎	131	
89	特発性拡張型心筋症	132	
90	脳梗塞、認知症	133	筋肉硬直の関係
91		134	喘息
92	脳梗塞	135	股関節変形症
93	アキレス腱周囲炎	136	腎臓病
94	胆管炎	137	高血圧、喘息
95	慢性閉塞性肺疾患、狭心症	138	心筋梗塞
96	2型糖尿病、脳梗塞、高血圧	139	糖尿病
97	糖尿病、肝硬変	140	急性胃腸炎、高血圧
98	高血圧・心不全・狭心症	141	股関節頸部骨折
99	慢性腎不全（透析）	142	腰部脊柱管狭窄症、陳旧性心筋梗塞、高血圧症、腎機能障害、腹部大動脈瘤
100	高血圧 高脂血症	143	肺気腫
101	糖尿病	144	不明、(他医 眼科受診)
102	慢性閉塞性肺疾患（在宅酸素療法）	145	高血圧・高脂血症・甲状腺機能低下症
103	脳梗塞後	146	心疾患
104	高血圧症	147	慢性気管支炎・高血圧・前立腺肥大症
105	糖尿病、慢性副鼻腔炎	148	頸椎ヘルニア・糖尿病・うつ
106	脳出血後遺症	149	腎不全（透析治療）
107	腎臓摘出後、高血圧	150	
108	心筋梗塞、狭心症、透析	151	高血圧・糖尿病・腎炎
109	糖尿病	152	肝細胞癌
110	大腸ポリープ	153	糖尿病
111	虚血大腸炎、高血圧	154	
112	脳梗塞後遺症	155	糖尿病、C型肝炎
113	脳出血	156	
114	脳梗塞	157	腰痛、甲状腺、糖尿病
115	アルコール依存症	158	C型肝炎、糖尿病、高血圧
116	頸椎症性脊髄症	159	糖尿病
117	糖尿病	160	
118	高血圧	161	てんかん、高血圧
119	真珠腫	162	
120	糖尿病	163	尿が出ない、高血圧
121	肺気腫、鉄欠乏性貧血	164	糖尿病
122	骨粗しょう症、腰痛、肺気腫	165	慢性腎不全で透析治療
123	高血圧、低カリウム血症	166	多発脊椎骨折による体幹機能障害
124	リウマチ	167	
125	変形性関節症	168	認知症、神経因性膀胱、自立神経失調症
126	パーキンソン病	169	脳幹梗塞
127	C型肝炎	170	脳卒中、寝たきり、胃ろう

治療中の疾患			
171	脳梗塞、(眼科)	176	てんかん
172	糖尿病、脳梗塞、眼科(糖尿病起因)、歯科通院中	177	慢性腎臓病
173	糖尿病	178	
174		179	心臓、圧迫骨折、腎臓病
175	自律神経失調症	180	高血圧、狭心症、脳梗塞



昨日一日の食事内容				
	朝	昼	夕	間食
1	朝/おにぎり(しゃけフレーク入り)、漬物、ウィンナーと卵を和えたもの	昼/粉もの(ホットケーキ風)、コーヒー	夕/大根と練り物を入れた汁、ごはん、漬物、生野菜(キャベツ)	他/コーヒー、チョコレート少し
2	朝/野菜サラダ、ごはん、味噌汁(キノコ、豆腐)	昼/?	夕/?豆腐、サラダ	他/
3	朝/	昼/お茶だけ	夕/	他/
4	朝/パン、コーヒー	昼/おにぎりなど	夕/魚、ごはん、サラダ、漬物	他/
5	朝/野菜炒め、ご飯	昼/カップラーメン、ご飯	夕/豆腐、野菜	他/
6	朝/ご飯、冷奴、のり	昼/焼きそば	夕/覚えていない	他/
7	朝/パン、ヨーグルト、サラダ	昼/パン(母) 社食で定食(本人)	夕/カレーライス	他/
8	朝/	昼/	夕/	他/
9	朝/納豆、フキの煮物、キムチ、ご飯	昼/菓子パン2つ	夕/ご飯、味噌汁	他/
10	朝/白米、豆腐の味噌汁、目玉焼き、漬物	昼/カレーライス	夕/カレーライス	他/
11	朝/卵焼き	昼/目玉焼き	夕/×	他/×
12	朝/無	昼/中華そば、冷奴	夕/おかゆ、トマト、アスパラ	他/
13	朝/	昼/	夕/	他/
14	朝/バナナ、ヨーグルト、パン一切れ	昼/牛丼(自作)	夕/ヨーグルト	他/大福1個
15	朝/	昼/	夕/	他/
16	朝/パン、牛乳、キャベツ、卵、ハム、ヨーグルト	昼/焼うどん(レタス、肉)	夕/煮かつ、ご飯、野菜、きくらげ、こぶきいも	他/コーヒー、お茶、たまにせんべい
17	朝/ブリカマ、鮭カマ、納豆、味噌汁、野沢菜胡麻和え、ヨーグルト、果物(オレンジ)	昼/鮭カマ、切り大根の炒め、野沢菜胡麻和え、辛し和え、山クラゲ佃煮	夕/ジャム、牛乳(野菜ジュース)	他/
18	朝/パン	昼/いなり寿司	夕/あるもので	他/
19	朝/トースト、コーヒー、サラダ	昼/煮込みうどん、カボチャ煮、サラダ	夕/メンチかつ、黒豆煮、ナスのあんかけ	他/
20	朝/菓子パン、缶コーヒー、お茶	昼/菓子パン、スナックえんどう(ヘルパー調理)	夕/ご飯、肉じゃが、焼き魚、スナックえんどう(ヘルパー調理)	他/
21	朝/ご飯、お茶、刺身、漬物	昼/外食 鉄火巻	夕/ご飯、肉団子、漬物、レタス	他/
22	朝/	昼/	夕/	他/
23	朝/	昼/	夕/	他/
24	朝/ヘルパーが用意(品数十分)	昼/ヘルパーが用意(品数十分)	夕/ヘルパーが用意(品数十分)	他/
25	朝/	昼/	夕/	他/

昨日一日の食事内容				
	朝	昼	夕	間食
26	朝/ご飯、シラスふりかけ	昼/煮物、ご飯	夕/煮物、ご飯	他/
27	朝/	昼/	夕/カツ丼	他/
28	朝/無	昼/食パン、冷凍食品(クリームコロッケ)、玉ねぎ、ブロッコリー	夕/ごはん、冷凍食品(ソースカツ)、キャベツ、レタス、冷凍食品(つくね)	他/
29	朝/納豆、ご飯	昼/サバの味噌煮、ご飯	夕/うどん	他/
30	朝/ご飯、魚、味噌汁	昼/餃子、牛丼	夕/味噌汁、バームクーヘン、ミカン	他/コーヒー2杯、クリームソーダ
31	朝/	昼/	夕/	他/
32	朝/	昼/	夕/	他/
33	朝/納豆、冷奴など	昼/食べない ミックスマツツをつまむ	夕/煮物など	他/パン1日1回食べる
34	朝/	昼/ポテトサラダ、から揚げ、ご飯	夕/ポテトサラダ、お味噌汁、ご飯	他/
35	朝/無	昼/スパゲティ	夕/サバの味噌煮、海藻サラダ、(お米は無し)	他/
36	朝/大体食べない	昼/木・金は作業のスタッフの買ってきてもらう(452円～)ほかの曜日はあまり食べない。	夕/金・土・日は実家で食事	他/
37	朝/	昼/	夕/	他/
38	朝/なし	昼/なし	夕/なし	他/マカロニサラダ、酢豚、惣菜
39	朝/ご飯、生卵、キャベツの炒め物	昼/会社で買う弁当	夕/ご飯、漬物	他/夕飯の前にバナナなどを食べる
40	朝/おにぎり、タケノコご飯、ジャガイモの煮物	昼/おにぎり、ハム、目玉焼き	夕/おにぎり、もやしとレンコンとピーマンの炒め物	他/
41	朝/なし	昼/なし	夕/ご飯、ハンバーグ(レトルト)、サラダ	他/
42	朝/パン、バナナ0.5本、リンゴ1/8個、ジャガイモサラダ、野沢菜づけ、ヨーグルト、お茶	昼/パン、味噌汁に寒天とワカメ、煮物	夕/カップ焼きそば、漬物、生野菜	他/
43	朝/パン	昼/中華	夕/おすし	他/
44	朝/無	昼/おにぎり+パン	夕/のり弁当	他/
45	朝/豆腐とキノコの味噌汁、漬物、のり、小魚、ご飯	昼/煮物、サラダ、ご飯	夕/煮物、サラダ、ご飯	他/
46	朝/いなりずし、味噌汁	昼/	夕/	他/
47	朝/ご飯、お湯、野菜	昼/厚揚げ	夕/魚、大根、ドレッシング	他/

昨日一日の食事内容				
	朝	昼	夕	間食
48	朝/コーヒー、バナナ	昼/ジュース・水	夕/鶏から揚げ、ジャガイモと人参とごぼうの煮物	他/パン1個、ジュース
49	朝/	昼/	夕/	他/
50	朝/卵、たくあん	昼/卵、たくあん	夕/	他/
51	朝/納豆と卵、ご飯、味噌汁	昼/うどん	夕/漬物、豚肉(ポークステーキ)キャベツの千切り、ご飯	他/
52	朝/梅おむすび、キュウリ	昼/ネギ味噌、ご飯(卵かけ)	夕/タラ、シュウマイ、サバ、ほっけ、ご飯、キュウリ	他/お菓子
53	朝/タケノコ煮物、寒菜のおひたし、ご飯、味噌汁	昼/寿司(700円)	夕/納豆、豆ネギ入り	他/晩酌しない(飲むとき飲む)
54	朝/ご飯、豆腐の味噌汁、生野菜、ポテトサラダ	昼/パン、コーヒー、ヨーグルト、トマト	夕/生姜焼き、野菜、味噌汁(卵入り)、ご飯	他/
55	朝/インスリン ご飯、納豆、味噌汁	昼/インスタントラーメン	夕/ハンバーグ(湯せん)、塩昆布、卵	他/
56	朝/コッペパン	昼/	夕/混ぜご飯	他/
57	朝/味噌汁、プリフライ、サラダ、ご飯1/2(本人)、+卵焼き(長男)	昼/おやき、卵スープ、はっさく(長男)、ご飯、ひじきの煮つけ、塩から、味噌汁(本人)	夕/ご飯、そば、メンマの煮物、ホウレンソウのおひたし(長男)、おやき、食パン、トマトスープ、トマトジュース(本人)	他/
58	朝/無	昼/無	夕/おつまみ(ジャガイモと焼ホタテ)、たらこ、サラダ	他/豆乳
59	朝/ご飯、漬物、豆腐	昼/ご飯、漬物、豆腐	夕/キャベツの蒸し煮ポソ酢掛け、豆腐	他/
60	朝/ご飯、目玉焼き	昼/ラーメン	夕/冷やし中華、魚	他/
61	朝/味噌ラーメン(インスタント)、冷ご飯	昼/塩サバ、冷ご飯	夕/そうめん、冷ご飯	他/
62	朝/納豆、味噌汁、漬物、ひじき、サラダ	昼/おにぎり	夕/納豆、枝豆	他/
63	朝/コーヒー	昼/サラダ	夕/サラダ	他/
64	朝/味噌汁、ご飯、キャベツのおひたし、納豆、生卵	昼/うどん、味噌汁(インスタント)、野菜サラダ	夕/焼きそば	他/日本酒(ワンカップ)、ブラックコーヒー
65	朝/ご飯(卵かけご飯(2人で半分に分けて)梅干し)	昼/パン屋さんパン、おにぎり	夕/野菜サラダ、豆腐、揚げ物(買ったもの)	他/アイスクリーム、ヨーグルト
66	朝/パン	昼/おもち2~3個	夕/レトルトカレー	他/
67	朝/卵、ご飯、味噌汁(インスタント)	昼/カップラーメン、菓子パン	夕/卵、ご飯、味噌汁(インスタント)	他/

昨日一日の食事内容				
	朝	昼	夕	間食
68	朝/息子 パン 夫 実家	昼/娘がいたのでデリバリーピザ	夕/肉の炒め物、餃子、卵スープ	他/
69	朝/ご飯、納豆、味噌汁、ヤクルト	昼/パン、コーヒー	夕/ご飯、味噌汁、シラスおろし、コロッケ、サラダ、冷奴	他/
70	朝/ご飯、サラダ等 (食前にコーヒー)	昼/ご飯、サラダ等	夕/ご飯、サラダ (キュウリに味噌をつける、ミニトマト3~4個) 卵豆腐	他/
71	朝/なし	昼/弁当	夕/麻婆ナス、味噌汁、ご飯	他/
72	朝/ご飯、パン、野菜	昼/ご飯、パン、野菜	夕/ご飯、パン、野菜、魚	他/
73	朝/おにぎり、鶏肉、お茶	昼/弁当 (とんかつ)	夕/おにぎり2つ、カップラーメン	他/焼酎1カップ
74	朝/	昼/	夕/ごはん、焼きそば (カップめん)	他/
75	朝/食パン2枚、牛乳1杯	昼/ししゃも、ハム+目玉焼き、白米	夕/鮭焼、もずく、白米	他/
76	朝/ご飯240g、納豆、焼き魚、もずく	昼/なし	夕/ご飯200g、肉じゃが、麻婆豆腐	他/
77	朝/サラダ、納豆、麻婆豆腐、ほうれん草、鶏の煮つけ、ご飯	昼/なし	夕/サラダ、納豆、麻婆豆腐、ほうれん草、鶏の煮つけ、ご飯	他/
78	朝/パン、牛乳	昼/お茶漬け	夕/惣菜のコロッケ、スパゲティ	他/間食はしない。一人で食べてもおいしくないから
79	朝/納豆、生卵、みそ汁、つけ物	昼/お茶漬け	夕/食パン、牛乳、果物 (2~3/週 肉)	他/
80	朝/ご飯、みそ汁 (インスタント) 野菜、肉じゃが	昼/ラーメン	夕/ご飯、おかず	他/
81	朝/お茶	昼/ソースかつ丼、アイス、コーヒー	夕/キムチ、塩昆布、みそ汁、ご飯、缶ビール1本	他/
82	朝/とろろ、そば、ご飯、野菜炒め	昼/ご飯	夕/そうめん、ごま、焼酎2合	他/
83	朝/ごはん、ふりかけ	昼/ごはん、ふりかけ	夕/ごはん、ふりかけ	他/そば
84	朝/食パン、目玉焼き、サラダ、水	昼/ラーメン	夕/ごはん、あさりのみそ汁	他/
85	朝/白飯 味噌汁、前日の残り	昼/そうめん	夕/なし	他/
86	朝/キャベツ、鮭、ワカメ酢の物、茶	昼/さつまいも、生乳	夕/キャベツ、鮭、干物、ワカメ酢の物、茶	他/するめ、くるみ、ソバの素揚げ、茶
87	朝/	昼/	夕/	他/
88	朝/	昼/うどん	夕/	他/

昨日一日の食事内容				
	朝	昼	夕	間食
89	朝/なし	昼/	夕/なし	他/
90	朝/	昼/フレンチトースト、ラーメン	夕/	他/
91	朝/中華丼、お酒	昼/お酒	夕/お酒	他/
92	朝/食パン2枚、カップスープ	昼/	夕/米飯、卵焼き、納豆、シーチキン、漬物	他/
93	朝/味噌汁、ごはん、ハムエッグ	昼/鍋物にうどん	夕/イワシの煮物、かつおたたき、おひたし、ごはん	他/ドーナツ
94	朝/	昼/	夕/	他/
95	朝/食パン2切れ、牛乳	昼/ごはん、煮物	夕/同上	他/
96	朝/玉子、梅、納豆	昼/山菜料理	夕/山菜料理	他/
97	朝/アンパン一つ	昼/ごはん (おかず無し)	夕/ごはん (おかず無し)	他/
98	朝/ごはん・味噌汁・卵焼き・サラダ	昼/食パン1枚 サラダ	夕/ごはん 野菜炒め 長いも	他/
99	朝/ごはん、味噌汁、きゅうり ふきの煮たの	昼/お好み焼 (冷凍食品)	夕/ごはん きゅうり トマト 豆腐	他/
100	朝/	昼/	夕/	他/
101	朝/食パン ジャム パナナ レタス きゅうり 牛乳ヨーグルト	昼/ごはん 納豆 ほたての漬けたもの	夕/弁当 しらすサケごはん 切り干し大根	他/草餅
102	朝/菓子パン	昼/同じアパートの方が作ってきてくれる	夕/同じアパートの方が作ってきてくれる	他/ 米は自分で炊いている
103	朝/ごはん 漬物	昼/ごはん ラーメン	夕/ごはん 煮物	他/
104	朝/納豆 ごはん	昼/ラーメン(ネギ入れて)	夕/ぎょうざ、おひたし、ごはん	他/パン
105	朝/米、みそ汁 (もやしわかめ)、漬物(大根の葉)	昼/米、みそ汁 (もやしわかめ)、パセリの炒め物、カボチャの煮物	夕/米、みそ汁 (もやしわかめ)パセリの炒め物、カボチャの煮物、焼魚	他/
106	朝/おかゆ ゆで卵 かぶの漬物 きゅうり	昼/うどん サラダ	夕/おかゆ たまご キャベツ炒め	他/
107	朝/食パン 目玉焼き	昼/うす焼き	夕/牛丼 (外食)	他/
108	朝/パン、ジャム、コーヒー	昼/なし	夕/おにぎり、からあげ (共に惣菜)	他/
109	朝/ふきの煮物、ご飯	昼/買った佃煮、ご飯	夕/麻婆豆腐、ご飯	他/
110	朝/スナック菓子など	昼/デイスービス	夕/パンなど	他/
111	朝/卵、鳥のささみ揚げもの、トマト、レタス、みそ汁、ご飯	昼/なし	夕/朝炊いておいたご飯を使ったおにぎり	他/
112	朝/れんこんの煮物、目玉焼き、みそ汁、ご飯	昼/パン、牛乳	夕/もち、れんこん煮物、みそ汁、さば缶	他/飴
113	朝/コンビニのおにぎり1~2個	昼/なし (食べたいと思わない時もある)	夕/ヘルパーが作ってくれたもの	他/

昨日一日の食事内容				
	朝	昼	夕	間食
114	朝/パン・牛乳	昼/	夕/カップラーメン (人からもらった)	他/
115	朝/パン2枚・牛乳・お茶	昼/おじや (みそ汁・米)	夕/みそ汁・米・蒸しキャベツ・甘い豆	他/和菓子
116	朝/食べない	昼/卵かけご飯	夕/鶏肉南蛮、シュウマイ	他/
117	朝/食パン2枚、インスタントスープ	昼/めん類 (うどん1玉、カップめん)	夕/肉を焼いてご飯を食べた	他/なし、低血糖時のみ
118	朝/なし	昼/なし	夕/じゃがいも、玉ねぎ、なすの調味料で炒め物	他/
119	朝/なし	昼/チャーハン	夕/麻婆豆腐・キャベツの千切り・ご飯	他/
120	朝/玉子、ベーコン、ご飯	昼/なし	夕/チキンライス、サラダ	他/なし
121	なし	昼/タラのソテー、アスパラベーコン、レタスサラダ、コンソメスープ	夕/洋風炒り豆腐、青菜煮浸し、すまし汁、果物	他/
122	朝/味噌パン	昼/ぞうすい	夕/焼きおにぎり、赤貝のかんづめ、おひたし	他/
123	朝/食パン	昼/なし (外出していた)	夕/おにぎり、マカロニサラダ	他/だんご (15時)
124	朝/パン、卵、パン	昼/	夕/野菜、缶詰	他/
125	朝/なし	昼/おにぎり	夕/野菜炒め、ハンバーグ	他/
126	朝/うめ、のり、ご飯、味噌汁	昼/	夕/うめ、のり、ご飯、味噌汁	他/野菜の好き嫌いあり。肉・魚食べない。
127	朝/食パン、牛乳、生野菜	昼/お粥、お浸し、漬物、佃煮	夕/お粥、生野菜 (ハム、ソーセージ)	他/なし たまに小さいパンを食べる
128	朝/納豆 みそ汁 たまご ハム 残り物	昼/パン	夕/お弁当と焼酎	他/
129	朝/インスタントコーヒー+食パン	昼/	夕/袋ラーメン+もやし	他/
130	朝/パン・サラダ	昼/酒・チーズ	夕/おじや	他/
131	朝/にんにくのカップラーメン、あとはパン。	昼/	夕/	他/
132	朝/	昼/	夕/	他/ある日はキムチ、白ご飯、缶詰。本人任せのため、どのくらい食べているのかわからない
133	朝/ごはん、きゅうりの粕漬、タケノコの煮物。	昼/同上	夕/冷やし中華(コンビニ)	他/
134	朝/カップラーメン	昼/焼き魚弁当	夕/焼き魚弁当	他/ポカリゼリー、あめ、菓子類

昨日一日の食事内容				
	朝	昼	夕	間食
135	ごはん、味噌汁、納豆、豆腐	魚、ゆで野菜、煮物、豆類	夕/そばがき、野菜、豆	寒天よせ
136	朝/パン	昼/うどん	夕/納豆、ごはん	他/なし
137	朝/パン、ミルク (豆乳)	昼/ごはん、野菜、鶏肉	夕/ごはん、野菜、鶏肉か魚、りんご1個	他/なし
138	朝/パン2枚、牛乳	昼/	夕/ごはん、味噌汁、漬物、魚焼き	他/
139	朝/納豆、味噌汁、卵	昼/ぶどうパン	夕/そば、卵	他/
140	朝/	昼/	夕/	他/
141	朝/ごはん、カボチャの煮物、エンシュア、あとは不明	昼/同じ	夕/同じ	他/間食せず
142	朝/	昼/	夕/	他/
143	朝/ごはん、卵、漬物 (しまური)	昼/ごはん、漬物	夕/ごはん、卵、鶏肉の焼いたもの、漬物	他/100円ショップで買ったおやつ
144	朝/	昼/	夕/	他/
145	朝/食パン2枚 (ジャム) 白菜の漬物・味噌汁	昼/おじや (シイタケ・かぼちゃ・もやし・鯉節・卵・味噌など)	夕/ご飯・鮭切身・昆布の佃煮・漬物 (きゅうり浅漬)	他/
146	朝/ご飯・味噌汁 (インスタント)・しゃけ	昼/おにぎり・サラダ・ラーメン	夕/ご飯・肉	他/
147	朝/	昼/	夕/	他/おにぎり一個
148	朝/水	昼/コーヒー (砂糖入りを氷らせて食べた)	夕/ご飯・昆布の吸い物・野草	他/
149	朝/無し	昼/透析食	夕/キャベツ肉炒め	他/
150	朝/	昼/	夕/	他/
151	朝/粥・味噌汁・煮物・果物	昼/粥・スープ・煮物	夕/粥・ヤクルト・ヨーグルト・煮物・魚	他/
152	朝/	昼/	夕/	他/
153	朝/	昼/	夕/	他/
154	朝/パン1~1.5枚、マーガリン	昼/ラーメン	夕/ごはん、魚、たまねぎ	他/
155	朝/パン、牛乳	昼/もち	夕/乾物、シチュー等	他/
156	朝/なし	昼/パン	夕/お米、レトルトカレー	他/
157	朝/ほとんど食べない。	昼/食パン1枚	夕/おかずのみ	他/
158	朝/	昼/	夕/	他/
159	朝/ごはん+納豆+味噌汁	昼/冷凍食品	夕/ごはん+肉or魚+野菜	他/
160	朝/トースト、目玉焼き、ツナ缶	昼/チャーハン、レタス	夕/とり、たけのこ、きのこ、レタス、ごはん	他/
161	朝/ごはん、納豆、梅干し	昼/パン、カップラーメン	夜/サケ、ごはん (お茶漬)、おしんこ	他/
162	朝/ご飯、煮物、缶詰の魚	昼/サラダ、煮物、野菜炒め	夕/	他/

昨日一日の食事内容				
	朝	昼	夕	間食
163	朝/ごはん、味噌汁、野菜	昼/ごはん、味噌汁、野菜	夕/ごはん、味噌汁、野菜	他/
164	朝/葛湯	昼/お茶、お菓子、バナナ	夕/ごはん、澄まし汁、酒、キャベツ、ソーセージ、漬物、卵焼きなど	他/
165	朝/シーチキンにマヨネーズをかけて食べる。	昼/シーチキンにマヨネーズをかけて食べる。	夕/シーチキンにマヨネーズをかけて食べる。	他/
166	朝/ごはん、味噌汁、フキの煮物	昼/ごはん、味噌汁、フキの煮物	夕/ごはん、味噌汁、フキの煮物	他/
167	朝/ごはん、味噌汁、ひじき、卵焼き	昼/朝の残り物	夕/ラーメン(なべで作ったもの)	他/
168	朝/食パン、トマトレタスサラダ、さんま半身	昼/暖かいそうめん(肉、えび入り)	夕/焼きおにぎり、昼の残り、トマトサラダ	他/コーヒー
169	朝/	昼/	夕/	他/ご飯、汁もの、トマト、たまご1つ、野菜
170	朝/	昼/	夕/	他/
171	朝/パン、マーガリン、コーヒ	昼/たまごやき、レタス、ごはん、あるおかず(手作り)	夕/ごはん、やきそば	他/
172	朝/	昼/	夕/	他/
173	朝/ごはん、味噌汁、魚	昼/ごはん、ミニトマト、たけのこ	夕/忘れた	他/
174	朝/パン	昼/スパゲッティ	夕/野菜炒め	他/
175	朝/ごはん、納豆、味噌汁、煮物、漬物	昼/ごはん、朝の残り物	夕/野菜いため、生野菜サラダ、ごはん、漬物	他/
176	朝/パン、唐揚げ、野菜炒め	昼/ごはん、おかず1~2品	夕/ごはん、おかず1~2品	他/ジュース
177	朝/100円のハンバーガー1個	昼/おにぎり1個	夕/食べてない	他/お菓子(ポテトチップス、スナック菓子)
178	朝/ご飯、味噌汁、おしんこ、のりの佃煮	昼/ご飯、味噌汁、おしんこ、のりの佃煮	夕/ご飯、味噌汁、おしんこ、のりの佃煮、たまに肉じゃが、野菜炒め	他/
179	朝/パンと卵	昼/ラーメン	夕/ごはんと惣菜	他/
180	朝/お粥	昼/体調不良により朝のみ	夕/体調不良により朝のみ	他/

生活保護を申請しようと思ったきっかけ	
1	事業(経営者)していたが、病気で働けなくなったため。子供たちに頼れない(アルバイト的な収入しかない)
2	病院に入院しソーシャルワーカーに紹介されて7年前から受給。生保受給前は体に無理して働いていた。受給せずに頑張ろうと思っていた。娘の助けを借りていたが限界だった
3	
4	生活するためのお金がまかなえなくなった。(本人の病気がきっかけ)
5	病気をして生活していくことに困ったことがきっかけ
6	覚えていない。
7	本人:正社員になる前に病気を患い不安定になった。母:夫が自営業をしており、高齢になってから廃業したためその後生活が不安定になった
8	県外で調理の仕事や会社などいろんな仕事をしていた。妻の実家がある長野県でお店を開いた(そば屋)。平成元年~平成17年まで続いた。そのあと罪を犯して刑務所へ。そのとき妻子と別れ店を失った。刑務所は1年半早く出られるようになったが、刑務所を出る直前胃がんが分かり入院した。入院後保護を受けた
9	本人が入院したことをきっかけに勝手に弟が申請した
10	体の不調によって働けなくなった。働く場所(病院)を追い出された
11	目が悪くなって車の免許が取れなくなって仕事ができなくなったから。悪いことをして(薬の密売?)警察に捕まったようで、それで仕事がなくなった?(詳細不明)
12	病院入院中に申請
13	
14	転院した際、主治医に生保受診するよう勧められた。(精神的に不安定となり大量服薬してしまった。働けなくなった)
15	受給してから3年になる。60歳までは働いたがお金が無くなると困ると思いつつどのようになれば受給できるか相談に行っていた
16	手術後に生活に困窮して申請した。家族、親せきはいるが、自分の生活でいっぱい。援助できる状態になかったり疎遠になっている
17	生活できなくて不安だったため
18	夫婦が仕事をやめて収入がなくなったため
19	病気で仕事ができなくなり申請する
20	夫の収入で暮らしていたが離婚。母親の介護が必要なため働きにも行けず。母死去の後無収入となり、年金申請した
21	年金がなかった
22	母の介護の為に仕事を辞めた。また仕事をする予定ではいたが、母親の介護の負担もあり自分自身がうつ病になって働けなくなった
23	母親の介護の為に仕事を辞めた
24	腰痛で仕事を辞めたことをきっかけに、以降長く続く仕事なく、ローン払えず家を手放し、就職せず
25	夫婦で住み込みの管理人の仕事をして収入を得ていたが、年齢的にも体力的にも難しくなり退職。住むところと収入を失い生保申請した。子供は3人いるが、各々の生活でいっぱい援助が受けられなかった
26	長男→長男の子(本人の孫)に対する暴力から孫を守るために引き取った。転校などの手続き上役所へ通っていたら役所から勧められて申請に
27	1年前、姉の勧めで手続き。具合悪くなり、仕事を継続できなくなったのが契機
28	入院中にケースワーカーに申請手続きを取ってもらった
29	長男の事業が失敗してしまって、連帯保証人になっていたので借金

生活保護を申請しようと思ったきっかけ	
30	仕事ができなくなり、生活できなくなった。実母が亡くなるまで弟・妹と医療費を負担して頑張ってきた。できれば申請したくなかったけど…。受給受けるようになり4～5年経つ
31	私が病気になり（糖尿）仕事ができなくなり、年もいっているので助かります
32	子供の教育費
33	平成11年大きなけがをして働けなくなった。保険にも入っていなかった
34	病気がきっかけで仕事を辞めたことがきっかけ。そのまま今に至る
35	父親が死亡したのがきっかけ。（関西で仕事をしていたが、体調を崩し2年くらい父と2人で暮らしていた。父の死後5か月くらいは貯金を切り崩して生活していた）現役のころは住宅メーカー、損保会社などに勤務していた。現在生保を受けだして2年経つ
36	H20年9月の入院。心疾患で生活保護を受給
37	足にけがをしてしまい仕事が続けられなくなってしまったため申請しようと思った
38	医療機関の人に勧められた
39	マイクロバス運転手の仕事をやろうと思ったが、糖尿病があったので無理だと言われた。そのあとに幹旋みたいな形で今の職場に就職した。その時だったと思う
40	4～5年前の病気
41	2年半前に人間関係が理由で仕事ができなくなり心療内科に通院し仕事を辞めた。半年くらいは親の援助で生活していたが、両親も年金暮らしであり、両親から生活保護を受けてほしいと言われた
42	65歳の時、慣れない清掃仕事の帰りに、疲労の為駅の階段を踏み外し足を負傷。そのため仕事できず収入途絶えた
43	ご主人が倒れたこと。自分を心配してくれた
44	病気の為仕事ができなくなった。家賃も滞納、税金も滞納するしかなくなり困った。前会社は有給をお金に換えられるためお金が振り込まれたが、滞納していたため全額差し押さえとなってしまった。生活ができなくて困っていたところ、生保を教えてもらい申請した
45	収入がなくなった
46	病気（肺気腫）で働くのが困難。妻が母の介護で仕事に出られない
47	隣県で働いていたが体調崩し退職。長野県へ来たが体が悪くて仕事がなく、そのうち目も見えなくなり、生保申請となった
48	病気
49	急性腎不全の治療。仕事はドクターストップ
50	民商の人に相談
51	20年前交通事故。左片麻痺。母子家庭だったので生保のこと知っていたので自身で申請した（10年くらい）仕事が見つからない。結婚もしなかった
52	夫が亡くなり下の子が小学生。何度か申請に行ったが上の子が働き出して断られた。家賃滞納
53	病気がきっかけ。働けなくなった（生保7年くらい）
54	病気で入院中に市役所の方で手続きしてくれた。
55	知人が紹介してくれて市役所に行った
56	14～15年受給。アルコールが入った状態で自転車に乗り転倒。手術、入院後お金なく申請した
57	厚生課と生活相談。医療について相談していたら厚生課の方から生活保護にしますと言われた。最初から生保の受給の希望ではなかった
58	元同居していた男性からの家庭内暴力や娘に対する性的虐待があり家を出た。子育て支援課より紹介され、生保へ。（一時保護も当面暮らしていけるあてもなかった）自分ではよくわからないうちに生保申請も済んでいた
59	夫の死後、貯金がなくなったり収入がなくなって来て申請した
60	病気になって仕事ができなくなったため
61	仕事をやめてしまい（貯金もなかった）。3,4回自殺しようと思い悩んでいた。そんな時に散歩しているときに知らない人に生活保護を申請すると良いと声をかけられたことがキッカケ

生活保護を申請しようと思ったきっかけ	
62	足が悪くなって働くのに支障が出たから
63	近所の方から聞いた
64	体調悪化し収入がなくなってしまったこと。病院に受診、入院し看護師やソーシャルワーカーからアドバイス貰ったため
65	60歳の時ご主人が仕事でケガ→入院（両肩）→ご本人65歳までパート、ご主人認知症（軽度）→年金をかけていなかった→困って市役所に行った
66	足、腰を痛めて仕事ができなくなり、保護を受けることに
67	会社を辞めて母親の介護していた。母親の年金で生活をしていた。ご本人も心疾患があり仕事ができなかった。母親が亡くなり、収入が無くなり、妹と一緒に生活支援課に行き生保開始になった
68	夫、宅配ドライバーやっていたが、体調崩し退職。収入が下がったので
69	本人が市に行って申請した
70	ずっと飲食店やっていた。そのころから体調悪かった（～H1年頃までお店）お店閉めてしばらく経ってから、仲が良かった人から「高齢だし、ずっと税金を納めてきたのだから、市役所で生活保護申請したら」と言われたので申請した。H17.6月～受給開始。当時市役所の人に来て、売れるものは売りなさいと言われた。車、着物、アクセサリ（指輪やネックレス）を売った。（H19年 夫亡くす）
71	仕事を辞めるときに障害年金だけでは生活できないと思い生活福祉課に行った
72	年金だけでは足りないから
73	60歳で退職し、収入源がなくなった。アパートの大家さん民生委員で市役所とつなげてくれた。年金はまとめてもらった?というが…
74	病気（うつ）で働くことができなくなり、生活できなくなったから
75	経済的理由で治療が受けられないということで。ソーシャルワーカーが介入、話をして申請決断した
76	体調が悪くなり働けなくなったから
77	糖尿病で入院。仕事なくなった（元職場に復帰できなかった）足を壊疽で切断した（10年前）
78	年金だけでは生活ができないから。関西に住んでいたが、娘の近くに住むようになった
79	年金を貰おうと市役所に行ったが、8年分手違いで貰えなかった。耳も遠く、年金の手帳を持っていったらすぐに申請できた
80	60歳から収入なし役場に自分で行った。色々調査された
81	C型肝炎のインターフェロン治療に失敗してから、うつ病がひどく、アルコール中毒になり、体がしんどく仕事ができなくなった。友人が生保を申請してくれた
82	
83	夫が外国人、東京にいた時は年金を払っていたが、こちらに転居してきてから払う手続きをしたが、外国人は年金制度に入れないと市役所で言われ、受け付けしてもらえず。このまま年金がないので生保を受けた
84	定年になったとき年金だけでは生活できないので、申請した
85	病気により具合が悪くなったため
86	海外に住んでいたが病気になって働けなくなった。日本在住の兄のところに一時身を寄せて、治療が終わって海外の会社に連絡したらもう戻ってこなくてよいと言われた。家も仕事もなく、兄の家にならざるわけにもいかず、生保申請となった
87	家族の金銭的負担を減らそうと思った。今後どう歩くべきかとことん向き合おうと思った。保健師さんから制度については聞いていたが、これでも生活していける力をつけて社会復帰できるように。両親兄弟各々の人生を考えて。自分で決めたので自分で責任を取る
88	仕事先が倒産し働き口がなくなった。そのタイミングで体調を崩し入院。その際に生活保護を申請した。
89	特発性拡張型心筋症、脳梗塞で具合が悪くなったため
90	なるべく生活保護に頼りたくなかったが、長男が二人がだめになったときどうするか話をして手続きをしてくれた

生活保護を申請しようと思ったきっかけ	
91	一時刑務所にいた。その後駅で野宿をしたり公園で過ごしていた。病院窓口に通ううちソーシャルワーカーに声をかけられ申請となった
92	5年前脳梗塞を発症したことがきっかけ
93	商売がうまくゆかなくなると自営をやめて働きに出たが、父の病気と本人の病気で収入が絶たれた。負債を抱えたまま生保となった
94	病気、会社がうまくいかなかったり
95	本当は生保を受けたくはなかった。病気で体調が悪くなり働けなくなったため。家族との離婚も原因の一つ
96	脳梗塞、フラフラして勤めには行けない
97	51歳の時に、お金を貸していた会社が倒産して返ってこなかった。ペンキ屋として働いていたけど、うまくいかなかった
98	知り合いの知人が市役所の職員だったので相談にのってくれた。収入が7万円以下だったので申請した。(年金5万円)
99	母も年をとったので。自分も働けないので
100	もともと庭師の仕事していた。高い所によく登り植木にも詳しくかった。力仕事多い。兄がやっていた会社にいたが、兄とケンカして仕事を辞めねばならなくなった。申請して3年になる。もう1度仕事に戻りたいとは思っていない。さすがに体がきついで
101	夫が施設に入所していたが 支払いができなくなり退所。その後本人は仕事していたが 夫が家にいることで働けなくなり福祉課に相談に行った
102	10年くらい前に突然駅前で倒れた(心筋梗塞の一種)起きたら病院にいて何が何だかわからなかった。入院は約3ヶ月くらいした。その為、前に住んでいたアパートの家賃の支払いができておらず全て処分されてしまった(残っていたのはTV)。病院の相談員が役所を紹介してくれて生活保護の申請をした
103	過去に食品メーカーで12時間労働、2交代で勤務していた。7年間勤務したが 脳梗塞で倒れた。倒れた直後はそれまでの記憶を失ってしまい、その当時の歌謡曲なども全て忘れてしまっちゃべれなくなった。それ以来、生保を受給。今は会話できるようになった
104	二人でアルミ缶を集めて牧師と出会ったときに生活保護の話聞いた。アルミ缶をつぶして売っていた時は路上生活していた
105	病院に入院した時から
106	宗教に入っていたが働けないということで宗教の人から勧められた
107	病院に救急搬送され入院したのがきっかけ。10年くらい前
108	就労していた本人が体調不良により就労できなくなった時期に妻も透析に
109	息子が家を出して生活が苦しくなった。転居を機に生活保護申請となった
110	夫が病気になり、仕事が出来なくなり経済的に苦しくなったため
111	息子が病気になった時に、病院の看護師が教えてくれた。福祉事務所の方が来て、申し込みを行った
112	妻と離婚後に病気をきっかけに収入がなくなり生活保護の申請となった
113	突然病気して入院になり、その後働けなくなり生活が苦しくなった
114	担当ソーシャルワーカーに親切にもらった、世話になった。いっしょに役所に行った
115	
116	病気になり、働けなくなったため
117	糖尿病が悪化、リストラとなったため。医療費が高かったため、インスリンを自己判断で単位を変えて、どんどんと体調悪化。その中で職探しするが見つからず、面接も受けられず。貯金もなくなっている
118	(土)に反貧困ネットワークを紹介され、2日野宿をして(月)に反貧困ネットワークへ行った。入院して生保の手続きをもらった。栄養失調、検査入院となった。仕事、家がなくなって、駅の通路、公園のベンチ、身障者トイレの個室などで野宿していた。体が臭くなるし、横になって寝られず困った。風がしのげる所を探していた

生活保護を申請しようと思ったきっかけ	
119	体調が悪くなって仕事を休みがちになり、結局仕事を続けられなくなった。自覚症状がなく、顔面神経まひになるまで、病気に気付かなかった
120	病気
121	病気にかかり、病院にかかりはじめたころから
122	大病したら心配。今のうちに頼んでおこうと思った
123	十分な保障がなく生活が苦しくなった。病気(眼)
124	お金がなく病気になったため
125	3年前に指関節症で仕事を辞めたが、次の仕事が見つからず悩みに悩んで
126	60歳頃に仕事が無くなり、生保を申し込んだ
127	一人暮らしをしていたが、身体も弱くなり娘の所へ来てから
128	病気を発症し入院したことがきっかけ
129	約20年前に会社(土木関係)を経営していたが仕事が少なくなり支払いもできなくなり弁護士に相談し、倒産することとなった。70歳頃
130	弟の介護をする様になったから
131	くも膜下出血
132	市役所が言ってくれた?
133	けがをしたことがきっかけ。けがが続き、職場にすることが困難になってしまった。近所に詳しい人がおり、紹介してくれた
134	持病
135	次男からお金がないなら生活保護を受けるしかないと言われた
136	お店が倒産し、借金を抱えた。定期的に通院していた病院にも行けなくなり、役場の人が様子を見にきてくれて、食べるものなどもなく倒れそうになっているところに気づいてもらった。そこから生活保護につながっていった
137	
138	病院に入院してお金がないから手術できない。53歳ころ生保申請して手術を施行。会社の寮を追い出され転居してきた
139	駅で寝ていて、役場へ相談した。4~5年前に申請。自営業していたが、経営不振で多額の借金を作ってしまった。駅で野宿、友人宅に泊まるなどの生活を続けていたが、限界が来た。役場へ相談に行き、住宅・家電をひとつずつそろえていった
140	年金月額3万円程度。これだけでは生活が賄えなくなった。65歳を過ぎたころから夫と別居するようになり、生活も苦しくなった。夫の所在は娘さんも把握していない
141	夫が肺がんのため、職を失い、本人の年金(月10万)では生活が厳しくなった。夫は年金をかけておらず、困っていたところ、月3万受給できるように民生委員さんや村が取りはからってくれた
142	自分の体が思うように動かなくなり、娘さんが脳梗塞になったこと
143	5~6年前に髄膜炎になり入院して仕事ができなくなった。その後は仕事も見つけられず、年齢的にも難しく、相談して生保を受けるようになった
144	2013年ころ本人の右大腿骨警部骨折の手術と長男(故人)が大工で足場から落ちたあたりで申請
145	周りの方から申請をすすめられたから
146	働けなくなり、市の担当者がいろいろやってくれた
147	
148	ソーシャルワーカーと何度も面談を重ね、現状の改善・回復をする為に申請をした。
149	75歳ぐらいまで働いていたが、足腰が弱くなり退職、80歳前に役場に行き自分から受給を希望した。子供たちも支援する余裕がないと申請は受理された
150	
151	なし

生活保護を申請しようと思ったきっかけ	
152	4～5年前の健康診断
153	
154	土建業の仕事していたが心筋梗塞で働けなくなったのがきっかけ。兄に面倒見てもらっていたが、兄も経済的に難しくなった
155	
156	妹が大腸ガンの手術で職を退職となり、自分も病気で働けなくなった。あるお金で生活していたがお金もなくなり、非課税申請等した。そのあとも苦しくなり市に相談した。知らなかった通帳に200万円あり、2年はもった。そのあと病院相談員と一緒にってもらい生活保護の申請をした
157	ご主人が67歳で死亡（約15年前）した後に、他県にいる親族より生活保護を教えてもらった（兄弟が他県にいる）。自分も収入なく、息子も障害があるため申請した。主人が借金を残しており、親族に連帯保証人になってもらっていた。ご主人永眠後、支払いができなくなり自己破産した後は連絡がない
158	C型肝炎より、インターフェロンを受けることになった。副作用などあり、仕方なく受けることになった。
159	12年前に2年間糖尿病で通院していた。10年前に仕事で事故をおこし、相手が死亡した。仕事も解雇され、妻にも離婚された。お金がないので治療も中断した。糖尿病で体が大変だったので、出身県に戻り自殺しようとした。そうしたら身内に止められ、生活保護を進められ、病院へ駆け込むように言われ受給が可能になった
160	妻が仕事で本人は主夫をしていた。妻はチャットレディーで月に30～35万。四女の妊娠、気管支喘息で仕事やめた。本人は仕事してなく家庭に。仕事を始めてから頭痛があり仕事をやめた
161	以前暮らしていたところで色々あり。元市会議員をたよりに病院職員と出会う。着の身着のまま来る
162	2年前、長男のすずめ
163	忘れた。いつ申請したかも忘れた。何年もらっているかも忘れた
164	職が無くなったこと。母が生きていたときは兄から仕送りがあったが、亡くなってから仕送りがなくなり、貯金がなくなったから
165	お金が足りなくなった→生活保護を受けた。長女は病院に定期通院（精神科）しており、働くことができない。本人は透析治療を受けている
166	仕事のけがで働けなくなり、収入が無くなったため
167	病院に入院したことが一番のきっかけ。体が悪く仕事もしていなかったので当院のソーシャルワーカーにすすめられた。生活保護を申請してから2～3年になる
168	妹の介護が必要になり同居をはじめたときに生活保護の申請をした
169	仕事がない（言葉がわからない）。病气
170	県外のときより生活保護（本人が手続き）。現在地に來ての申請は大変だった、車持っていた
171	脳梗塞で仕事をやめたこと。年金を充分かけてこなかった
172	もともと自営で土木をやっていた。糖尿病で入院後すぐに脳梗塞になり働けなくなった。それでも1～2年は貯蓄でしのいでいたが、借金だけが残り1年前に生活保護に
173	…（無言だった）
174	妊娠中に夫が病気になる、もらうしかなかった。本当は嫌だったが、親からも勧められ仕方なかった
175	身体が悪くなって働けなくなった。夫との死別。病院で話をしてもらった
176	市に言ったら受けたほうがいいと言われた。てんかんあるため、仕事ができず
177	一般レベルの生活を受けられるようになれば。トレーラーの仕事を若いころやっていた、お金を稼いでお店を営んでいる頃、体調を崩してお店をやれなくなったことがきっかけ
178	平成21年の入院時、お金がなかった。病院で生活保護の申請を行った
179	病気がきっかけとなった
180	

生活保護を受給して良かったこと	
1	夫が病気で生活面（経済的に）はある程度安心して暮らせる。金銭的には今の額以上は望まないようにしている
2	毎月医者だけは来れる
3	ない
4	
5	
6	最低限の生活が送れること
7	医療の面で病院へ通院が安定して行えている。生活の維持が何とかできている
8	
9	無
10	病院代の心配はほとんどない
11	糖尿病の目の治療ができた。失明せずに済んだから
12	医療費が出る
13	
14	医療費、家賃など心配しなくてよい
15	生活ができている
16	NHK、病院、上下水道等免除があること
17	生活に安心ができること
18	生活していけるからよかった
19	暮らしが成り立った
20	病気で働けなくなった。家族の収入も（死別したため）入らず、困っていた
21	助かった。生活できるようになった
22	お金の心配をしなくてよくなった。病院にかかれる
23	母親の介護に専念できる
24	
25	施設入所できて生活が安定した
26	治療費の負担感
27	医療の現物給付で費用の心配なく受診できる
28	働かなくても受給を受けられる。最低限の生活は受けられる
29	最低限の生活には困らない
30	以前の医療費は大変だった（糖尿病で薬代だけで1万円以上）。体を悪くし、働けなくなったから、病院、薬代が無料になったのはありがたい
31	
32	金銭面
33	生活保護のおかげで何とか生きていける
34	病院にも通える。生きていられたこと
35	生活の安定（高いレベルではないが）
36	病院が無料で受診できる
37	
38	生活ができる。薬代が払える
39	特に思いつかない
40	医療費
41	特に思いつかない

生活保護を受給して良かったこと	
42	生活できることがありがたい
43	ご主人が受けていたものを引き継いでいるのでよくわからない
44	生保も支給され贅沢だと思っている。年金生活の人より貰っている。申し訳ない
45	助かっている
46	家族みんなが具合悪いので医療費助かる
47	病気で働けないから仕方ない。病院へ行ける。
48	病気で働けないのでよかった。どこにも頼るところなかった。(61歳～)
49	医療費無料、生活費もらえる
50	医療費免除
51	体が不自由で仕事ができないので助かっている
52	家賃が払えるようになった。食べるのに精いっぱいだが、社会的に生きていくことができる
53	生きている(病気の治療ができています)。仕事したいができない。医療費の負担がとても厳しい
54	病気で働くことができなくなったので助かる
55	仕事できないのに人並みの生活ができること。上を見ればきりが無い
56	人並みの生活ができる
57	最低限とはいえ、何とか生活できていること
58	家庭内暴力を受けた状況から抜け出し、生活の基盤ができたこと
59	貰えてよかった
60	病気になって仕事ができず助かった
61	無収入の時には助かったこと。いろんなときに助けてもらった
62	何とか生活が成り立っていること
63	生活が保障されている
64	健康面(医療費)の保障ができたこと。本当に困っている時期に受給開始でき、精神的に安定できたこと
65	生活ができる(安心)
66	
67	医療費がかからなくなったこと
68	医療費がかからないこと
69	医者にかかる
70	ない(今までの市役所の担当の方はよく話を聞いてくれたが、担当が女性に代わってから対応が悪くなった)
71	
72	家賃が払える
73	何とか生活できている
74	医療費窓口負担がなくなったこと
75	こういう体になっても生活の保障をしてもらっている
76	医療費の自己負担がなくなったのでお金の心配をせず受診ができる
77	生活できること。病院にかかれること
78	周りの方(家族とか)が協力してくれる。病院やデイサービスを利用できること。(利用できる施設は限られるけど…)
79	医療費がかからない。人付き合いしなくてよい
80	病院がかかり易くなった
81	
82	生活が守れる

生活保護を受給して良かったこと	
83	年金がないので生保受給して生活できている
84	生活がある程度保障されている(国民年金と合わせると)
85	病気の治療ができています
86	医療費がかからない
87	喘息の診断に時間がかかり入院をくり返していた。家族の負担を減らすことができた
88	まがりなりにも生活できている。受給していなかったら心臓の病気で死んでいた。命拾いした
89	
90	亡くなった長男が今後のことを心配して手続きはすべてしてくれて助かった(手続き後、息子さんは亡くなった)
91	サービスが受けられる。病院にかかれる。温かいところで暮らせる
92	医療費を見てもらえるので安心して病院に来れる
93	医療費負担がなくなったこと。贅沢はできないが安定的な収入が保障される
94	生活ができています
95	受診ができる
96	仕事ができるならしたい。よくしてくれる友達がいる
97	そうはいつでもお世話になっている
98	お金の心配をしなくてよくなり 定期的に入ってくるので安心。(欲しいものを自由に購入したり、行きたい所に自由に行けるわけではないが)
99	
100	もらう前と後では生活に変わりない
101	医療費がかからない。居住費も補助がある
102	
103	特になし
104	病院費がかからない。路上生活からアパート生活になった
105	病気に向かって生きることを教えてもらった
106	じっとしていても生活費が入ること
107	医療費については助かっている
108	
109	ありがたい
110	フライパンが買えてよかった
111	特になし
112	収入がなかったため受給無しでは生きていけなかった
113	生活ができる
114	ありがたい。大事に使わせてもらっている
115	医療費が無料
116	生活ができる
117	医療費の心配がなくなった
118	ホームレスよりはましだと思うが、「良かった」はない
119	医療費は全額見てもらえた
120	働く場所がない
121	医療が安心して受けられるようになった
122	医療保障
123	受診できるようになった
124	助かる。ありがたい。生活できるから

生活保護を受給して良かったこと	
125	特になし
126	
127	安定した収入がある
128	医療費はとても助かっている
129	特になし
130	生活が出来た。食事が食べれる
131	生きていける。病院の支払いができた。(20~30万請求があった)
132	受診の際、お金を払わなくていいからうれしい。現金払わなくていいからうれしい
133	最低限の暮らしができるため。隣人と仲良くできる
134	受給できたからとりあえずよかった
135	医療費の保障
136	今生きていられること
137	
138	生きてるから。生保がなければ死んでいた
139	生保を受けなければ死ぬしかなかった。感謝している
140	医療費がかからないのがいい
141	なかった。まったくもらえないよりはマシという程度
142	費用の工面を行政で行ってくれて助かる
143	毎月定期的にお金が入り、電気代など払うことができる
144	
145	医療費・薬代が自己負担がないこと
146	生活が安定し、不安がなくなった
147	特になし
148	病院に無償で行けるようになった
149	子供たちに頼るより気楽
150	
151	安心して生活できる
152	病院に受診できるようになった
153	
154	ありがたい。助けてもらっている
155	最低の生活が保障された。医療費が無料なこと
156	働けない体だからありがたい
157	
158	切り替えができ、新しい生活へ向かうことができたが、ぜいたくができない。もう少し自分に使えることがあるといいのに
159	最低限の保障はしてくれる
160	生活が成り立っている。妻の治療ができる(医療、保護費から出ているため)
161	
162	毎月の収入が確保できる
163	考えた事が無い
164	受給の枠からはみ出さないようにルールを守ればいいので、まあまあ良かったのではないかなと思う。(生活にはそれほど困っていない)
165	なし

生活保護を受給して良かったこと	
166	医療が受けられる。薬がもらえる。テレビの受診料がかからない
167	医療費を負担しなくてよいので、受診しやすい。定期的に通えている
168	手術したときに医療費がただになった
169	
170	
171	食べていける
172	医療費が扶助されていることは助かっている
173	医療費がかからなくなった
174	金額的には助かっている
175	
176	少し生活が楽になった
177	入院している間、自己負担なしで済んだこと
178	助かっている。生活ができる
179	家賃を払ってもらえるし、生活ができること
180	なし

生活保護を受給して悪かったこと	
1	他人の目が気になる。(生保を受けるようになって) 離れていった人に裏切られたように感じた
2	車を持たず、自己破産し生保受給。病気治療を続けながら働き続けることができなかったこと。せめて車があれば仕事もそれなりにつながったかも。生保になって仕事に就く機会を失ったこと。自立(支援)に車は必要だったのに。700ccのバイクはOKなのに軽自動車はなぜダメなのか意味が分からない。障害があるのでバイクを勧められても乗れない。せめて軽自動車あれば仕事場へ移動でき働けたのに
3	ない
4	特にない
5	特にない
6	
7	人とのかわりが辛い。仲間増やしがなかなかできない。思うがままに生活できない
8	保護をもらおうと働きたくても働けない。「仕事を手伝ってくれ」という声が知人からかかるが、バイト代が入ると収入が減らされる。1円でも貰うと×。本当は働きたい!
9	自動車の所有ができない
10	特に思い当たらない
11	特になし
12	電気製品が壊れると困る
13	
14	基準がどんどん下げられれば薬の制限などどんどん厳しくなる
15	
16	マスコミで芸能人の不正受給がたたかれた時金額も減らされて辛い
17	
18	ない
19	特にない
20	隣にいとこが住んでいるが生保のことは話していない
21	不足している
22	
23	
24	
25	
26	生保だと人から言われる、思われること。生保は恥ずかしいと親から教育された
27	支給額が少ないながらも社会的不利益は受けていない
28	公表はしない。自分から生活保護を受けているとは言わない
29	実家の家族に会えない。受診の時に市に連絡するのが大変
30	生活保護費が低くなっている。同じ生活をしていても、物価、消費税はかかる。貰っている身だから文句は言えない。上を見ればきりがなし、生活はできているからありがたい
31	
32	
33	
34	まわりの方からの視線が気になる
35	精神的に参ってしまった。過呼吸、嘔声になってしまった。生保を受給することへの嫌悪感
36	減額で余裕がない
37	
38	気持ち沈む。肩身が狭い。受給する為に仕事を辞めるよう言われた
39	車も所有できない

生活保護を受給して悪かったこと	
40	年金を取られる
41	生保の担当者いろいろな調べられて不快。監視の目が厳しいので生活が不自由になった(担当者が代わったので。前任者はまだ良かった…)
42	条件の悪い部屋を選ばざるをえない
43	
44	車の許可が出ない。仕事をするには車がないとできない。今の交通手段では病気があると移動も大変
45	
46	車を持ってない(乗ってはいけけない)
47	
48	ない
49	規制が厳しい。車購入できない。他人の車も運転してはいけけない(元タクシー運転手)
50	金銭管理してもらっている為、週2000~3000円の生活は厳しい
51	これと言ってないがこれでは足りない
52	
53	労働意欲なくなる。保護費取得すると働いた分だけ減額されてしまう
54	特にありません
55	ない
56	無し
57	制限があること。基準に納得できないことあり
58	子供の学校の費用が出なくて困った(細々出費がある)
59	申請が大変だった
60	あまりない
61	特になし
62	病院受診の際にいちいち電話をしないといけないこと。病院窓口で市役所に電話したか確認されること
63	
64	受給をしていても金額が少なく節約を余儀なくされること。差別的言動を知人から受けたこと
65	お医者に行くにも市役所に連絡しないといけない(お医者に行くのをやめてしまうことも)
66	できたら生保なんて受けたくなかった。でも生活していくうえで仕方ない
67	
68	支給額が一定でないこと
69	お金を払わず受診すること
70	毎月足りていない。毎月の生活費を書いた帳簿を見せるように市役所の担当から言われたのが嫌だった
71	
72	ノーコメント
73	車を手放さなくてはならなかったこと。友達づきあいでできないことは生保受給しているから当たり前と 思っている
74	保護費が少ない。収入があった時いちいち報告しなくてはいけないこと
75	おおっぴらに言えない
76	生命保険に入れない
77	肩身が狭い。周りは知らない
78	市役所の方がこちらの話を聞いてくれない。生命保険が切られてしまったので生保の受給を辞めようと思っても不安でやめられない。戻るに戻れない
79	それで生活するしかないので諦めるしかない

生活保護を受給して悪かったこと	
80	車を持ってない
81	精神的に窮屈で病んでしまう
82	受給開始の1～2年はみじめな気持ちで一杯だった
83	
84	医療機関にかかるとき市役所に電話、診療券を発行してもらわないとかかれない(初診)
85	制度に対して市役所から説明がしっかりされないこと
86	車が持ってない
87	入りにくく抜けにくい。5年なのでそろそろ卒業しなければと思っている
88	世間の目(偏見)を感じる
89	
90	
91	ない
92	働く意欲が出ない(目眩があり身体がついていかない)
93	働いていたとき収入が減ってしまうこと。やりくりはかなりきつい
94	金額が少ない
95	生活費が少なくて苦しい
96	わからない
97	
98	病院では医療費を支払うことがないので心苦しい。気を病む。他人はどのように思うかと気になる
99	人には言いづらい
100	
101	周囲で悪くいう人も時々いる
102	
103	特になし
104	どちらかが体調を崩した時が困る。いつも見張られている生活
105	お金に不安
106	近所の人に生活保護受給していると言われる
107	生かさず殺さず
108	交通手段が限られてしまうこと
109	申請時に息子が嫌がった
110	気持ちがづらい。その後息子さんは自死
111	年金受給の時、320万円入ったが、本人は知らなかった。銀行に行けと言われて、福祉事務所へ全部よこせと言われた。生活保護を外してくれと頼んだが、お金だけ持っていかれてしまった。領収書も無く、本人に詳しい説明も無かった
112	立場が弱く主張は出来ない
113	とくにない
114	ない
115	特になし
116	普通の生活とは言えない
117	人間らしく生きていけない。自由があるようで自由でない
118	全て。ひとの目も気になる。「すし食べに行って贅沢してる」とか絶対悪口を言う人がいる。周りを散歩するのは金がある時だけ。何かあると困るから。暴力沙汰とか
119	自由がない。人権が無くなった感じ。車が持ってないので、家にこもることが多い

生活保護を受給して悪かったこと	
120	制限された中での生活
121	世間に知られてしまう事があまり好ましくない、知られたくはない
122	窓口でお会計のことを言われること。察してほしい
123	なし
124	なし
125	働かだてだから、支払いが滞ることあり、怖い
126	
127	
128	生活保護をもらっているからと言われること
129	受給しなければよかったと毎日思うが他に頼るところもなく…
130	何も言えない
131	世間の目がつらい。白い目で見られている
132	
133	周りの人に対し、申し訳なく、後ろめたい気持ち
134	
135	精神的にしめつけられているような気がする
136	最初のころと比べると生活の質が落ちてしまった
137	ない
138	どんどん保護費が下げられている
139	保護費が少なくなっているような気がする
140	どんどん保護費が下げられて苦しい
141	金額不足
142	特になし
143	病院への通院にその都度役場から用紙をもらうのが大変。車もないし。車もなく仕事に行けない
144	
145	なし
146	周りに気がねする
147	特になし
148	2人での支給額が少なく感じる
149	無し
150	
151	思い当たらない
152	
153	
154	妻は日本に来たいが来れない。今の最大の悩みである
155	車が使えない。こんな田舎で車に乗れないのは不便。その都度人に頼むのも悪い
156	差別的な言葉を言われた。薬剤師に(生保) こういう人は安い薬にしると市から言われているから…と人前で大きな声で言われた
157	
158	働くことができなくなった。制限が色々ある
159	なし
160	妻の対人恐怖(福祉事務所の人が来る)精神的負担がある。1週間くらい妻は不在
161	

生活保護を受給して悪かったこと	
162	
163	考えた事が無い
164	別にないが、長男は不満に思っているかもしれない(本人が入院中、とっておいたお金がなくなっていた。お酒を購入したのだと思う)
165	なし
166	近所づきあいができない
167	車がなくなった事は不便。免許は持っているのに…
168	教会での費用は出せないが、そうはいつでも必要なときがあるので困ってしまう
169	
170	
171	
172	他人の目は気にならないが自分自身これでよかったのか悩む
173	思い当たらない
174	車に乗れないので本当に困る。病院にすぐ行けない。傷病手当の書類をとりに行ってからでないと受診できないので不便
175	あまり外を出歩いていると市の人に見られるのが怖い(生保がカットされると困る!)。気軽に歩けない
176	ない
177	仕事をする意欲無くなる。やりたいことを思うようにやれない(思っても収入生活のことを考えると)
178	本音はいっぱいある。でも言わない。その権利はない
179	上を見るときりがないが、生活保護を受けるとは思わなかった
180	いいことがないこと

今まで福祉事務所からどのような対応がありましたか?	
1	特になし
2	特になし。相談しても聞くだけで何の対応策もない。生活が苦しいことを知ってほしいのに話すことも訴えることもしなくなった
3	
4	
5	分からない
6	分からない
7	特になし
8	以前に住んでいたところの時のワーカーは丁寧だったが、昨年2月に代わった人はとてもいい加減。以前のアパート(35000円)から5000円安いところを自分で探したのに保護費を5000円削られた
9	無
10	特になし
11	
12	65歳になっていろいろ変わった
13	
14	年に1回しか来ない
15	年齢的に65だと杖もついていないので働くように言われる。今のところは就労して1年。1か月でも3か月でも就労から離れると働くように言われる
16	
17	
18	何もない
19	相談に行かないと情報や案内はない
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	特になし
27	年1回、受給条件について説明がある。他は特になし
28	郵送のみでの対応
29	年金支給の時に、仕事増やせば保護打ち切りますよと言われた(1年前)。お仕事のことも市役所に相談していく
30	「元気にしてますか?」や担当者代わったくらいのこと聞かれるくらい
31	病気の心配などが1番です
32	引っ越し、就労
33	担当が変わったのに出向いてくれない。来ても年1回(前の担当)。処方されている薬(皮膚病)だけでは足りず、市販薬を大量に買わなければならないことを容器を捨てずに溜めて見せた(訴えた)
34	無
35	仕事については体調を整えてからということになっている
36	
37	以前就労のことで何か言われたが今はあまりない
38	頑張ってくださいという言葉。実収入で足りない部分を支給してもらった
39	特になかった

今まで福祉事務所からどのような対応がありましたか？	
40	なし
41	仕事、住居を早く見つけて生保をやめてほしいとばかり言われるが、何も協力はしてくれない
42	ない
43	よくやってくださっている
44	初めの担当の人に「仕事する気がなければ生保を止める」と脅された。2番目、3番目の担当はとてもいい人で体のことを気にかけてくれた。「まずは体を治しましょう」と言われた
45	特になし
46	無し
47	ない
48	民生委員は2～3回/年。福祉事務所は人交代時、15分くらい話す
49	退院後申請手続き
50	金銭管理
51	困ったことに対して対応してくれた
52	
53	受診時に連絡するのみ
54	
55	特にない。体に気を付けて、何かあったら連絡ください
56	特になし
57	こちらから言わないと何もいってこない
58	これと言って…。生活がギリギリで相談に行っても、みんなこの中で生活しているんだからやってもらわないと困ると帰されてしまうだけ。これ以上切り詰めるところはないのに…と、頼りにはできない様子
59	
60	特にない
61	現在の住んでいるところに引っ越した時は厚生課の方から老人会に顔を出してみたらどうですかとアドバイスがあった
62	申請手続きの際に一緒に行ってもらって相談した
63	特になし
64	なし
65	この間面談（職員によって頻度が変わる）ご本人：元気なら気があれば働けたら…と言われたよう。だが長い間家をあけるわけにもいかないし…（ご主人が軽度の認知症）
66	
67	特に何もなし。1か月に1度自分から顔を出している
68	
69	特にない
70	ない。以前の担当の方には足りない時月3000円借りていた。今の担当の方とはうまくいっていない
71	デイサービスの利用
72	対応無し。そもそも来ない
73	タバコやめて
74	訪問してこないのでも何もない
75	特になし
76	申請手続きに行ったとき色々な課をたらい回しにされた
77	民生委員からのみ
78	（家族は知っていたのでは?とのこと）
79	特にない

今まで福祉事務所からどのような対応がありましたか？	
80	体調聞かれる
81	車に乗るな
82	
83	
84	2カ月に1回訪問してくるだけ。困っていること少し話す
85	
86	担当者との関係は良く、いろいろなアドバイスしをくれたり相談に乗ってくれるからありがたい
87	卒業に向けて話をしている。体調と自分自身の生活を安定させる時期として考えたらいんじゃないかと言われている
88	できる限り働きましようと言われたことはあったが今は言われていない。障害者年金の申請指導があったので申請中
89	
90	なし
91	介護保険や自立支援のヘルパー等サービスを受けられ手続きをしてくれた
92	特になし
93	会社やめたが今のところあまり対応なし。交通費支給求めても応答なし
94	数回来ただけで特に話や相談はせず。担当が代わるときの挨拶。十分な説明をしてもらえない。ケースワーカーの物言いがひどい。上から目線。「私が行ったことは正しいんです!」
95	
96	
97	
98	介護保険の関係で年1回ほど
99	歯科医に通うのに市役所へ行った（月1回・書類の関係）
100	対応はほとんどなし。役所の人が来るだけ
101	
102	
103	何か手続きがある場合は 福祉課へ行く
104	2人とも仕事の話はあって、職安に行ったが仕事がなかった。体調を崩してから仕事の話はなくなった(されなくなった)。病院にかかるようになって仕事はあきらめた
105	
106	特に何も言われていない。 顔も見に来ないくらい
107	2～3ヶ月に1回来て、話を聞いていくだけ
108	市住の申し込みなど
109	2011年にメガネの度が合わなくて買ってもらった。他にはなし
110	その都度、手続き等をしてくれる
111	
112	特になし
113	その都度、色々と相談にのってくれる
114	減った。1万にはいっていないが。少ないとはそんなに感じていない。生活の変化、あんまり実感ない
115	
116	何でも相談にのってくれる
117	上から目線の対応（生活保護になったと途端）
118	困っていることを話しても怒るだけ、「仕事を探せ、なぜ働かない」とかいうだけで助けてくれるわけでもない。SOSの物資をもらいに行くのは生保受給にふさわしくないと生保ケースワーカーから注意があった。とても生活が無理だから食べ物もらいにいくのに、相談相手にしても大事だから

今まで福祉事務所からどのような対応がありましたか？	
119	病気の説明などの為、ハローワークには一緒に行ってくれる
120	仕事するように圧力があつた
121	なし
122	とくになし
123	就労支援
124	
125	担当者の女性が親身になり相談にのってくれている
126	何もなし
127	様子をうかがうのみ。人も代わってしまった
128	その都度電話での連絡があるが、今の担当は親切でありがたいとのこと
129	なし
130	
131	
132	
133	書類などなにか変わったことがあるタイミング、でこちらから連絡しないと会うこともない
134	
135	就労指導あり、ハローワークに行った。嫌味を言われた。冷凍庫を買ったときに
136	
137	通訳の人がいて、わかりやすく説明してくれた
138	紙面で通知はきた
139	何もなし
140	なんの対応もなかった
141	説明と各手続き
142	申請の時に来てくれた
143	なし
144	
145	
146	
147	なし
148	就労について精神科自立支援の申請の話など
149	特になし
150	
151	なし
152	
153	
154	訪問のみ（状況確認のみ）
155	
156	福祉事務所からはなし
157	
158	なし
159	就労支援、マイナンバーの説明
160	就労指導あり。場所を下の方に住みませんかと話があつた
161	

今まで福祉事務所からどのような対応がありましたか？	
162	
163	なし
164	固定資産税支払いの電話があつたくらいであとはわからない
165	何もなし
166	まじめにやっているので、指導はない
167	就労相談の対応をしてくれた
168	お姉さんを特養に入れるように言われた
169	
170	仕事ができないか。車はOKだったが、とるには影響あつた
171	妻が入院しているので、そのことで
172	特になし
173	特になし。先日担当者が変更になると挨拶に来た
174	生保を受けている限り、車に乗れないと言われた。送迎のある仕事につけばいいと言われた。今の仕事は送迎がある
175	生保をとった頃は「働けないか」と話をされた。あとは全くなし
176	制度が変わったり何かあつたときのみ来てくれる
177	もっと働いて生保を自立しろと言われた。仕事を探している頃、障害者手帳を見せると断られた（50件くらい）。福祉職員も生保の人の生活を実際してみないと思いがわからないだろう
178	ハローワークのあっせんがあつた（若いとき）。体がキツくてあきらめた仕事はあつた。最近は年だから行かない
179	
180	なし

その他コメントがあればご記入ください (感想、訴え等)	
1	身障者用の住宅に住みたいが、順番待ちで入れない。先々のことを考えると不安になる
2	消費税5%→8%の影響きつかった!今後10%が心配・不安・生きていけない
3	自分を犠牲にしても孫にだけはつらい思いをさせたくないと繰り返していた
4	
5	
6	
7	高齢者ほど受給者がもらえる金額は少ないため、もし母が一人になった時のことを考えると心配である。生活保護制度に関して、もう少しわかりやすく、だれもが納得がいく内容であってほしい
8	銀行の通帳を持ってきて保護費がどれだけ削られたか見せてくれました。調査にあたって言いたいことがたくさんあったようです。H26.5月は26000円→H28.5月は11927円と半分以上に減らされていました。刑務所に入っていたことをとても悔やんでおり、子供に会いたいと合わせる顔がない、と。みんな裏切ってしまった、と。選挙で投票率が低いこと(自民党の有利になる)に怒っていました。また、高校生が「投票に行こう」と運動しているのを「すごい」と。次の選挙は楽しみなようです
9	
10	
11	話がいろいろ飛んでしまったが、おそらく警察に捕まって拘留されたことがきっかけで仕事を失った?よう。とにかく寂しいと言っていた。自分がこんな生活をするとは全く思っていなかった
12	医師を信頼している
13	政府の政策としては、社会保障の充実を図ってほしい
14	これ以上基準が下がらないように。消費税が上がらないよう。薬減らさないで。犬と一緒に住めるアパートに引っ越したい
15	保護を受けているというはほかの人には言いたくない
16	
17	
18	思いつかない
19	見守りの中で生活できる施設へ入居できればいいと考える
20	介護保険で毎日ヘルパーと週2回のデイを利用されている為、満足されているとのことでした
21	
22	
23	
24	住居変更費用の捻出が大変。生活扶助より行う
25	
26	将来は特養に入りたい
27	
28	体が不自由なため反対運動などの参加は難しい。今後も実態調査への協力をしてくれると
29	家賃の更新2年に1回、7万円かかった。→分割にしよう。不動産屋にお願い
30	働けるなら働きたいが、それができないから保護を受けるしかない。だからありがたいとは思っている。家賃が基準の37600円を超えているので安いところに引っ越してほしいと言われている。とにかく体が心配で、1人だし、何かあった時すぐ行けるからここに住みたい。家主も良い方だし、一人で一軒家はとも思っているが、日当たりもよく、庭もいじれるので負担が増えてもできれば住みたいと思っている。6月から支給額減ると思うが何とか頑張っていくしかないと思う
31	
32	国籍は海外であるが、永住ビザを取得している。なかなか祖国へ帰れない
33	
34	お風呂の工事をしたい。冬は寒い(広い)。段差もある(何度も転んでいるらしい)。もっと利用しやすくしてほしい

その他コメントがあればご記入ください (感想、訴え等)	
35	特になし
36	生活保護費を増やしてほしい。まずは2~3万増やしてほしい。本当にギリギリで生活が厳しい
37	日当たりがよく、風通しの良い場所だが、4階であり足が痛むので近いうち引っ越そうかと考えている
38	
39	下がる一方だよ。生活保護費が今の生活で精一杯だからまた下がったら厳しい。通院で足の骨を折った時でもタクシー代も出してもらえなかったし、車いすを貸してもらっても1週間だけだったし厳しいよね。車は持ちやだめだし、きつい。家賃以外の共益費に1000円取られるけど、これも結構大変。どこからももらえないし、請求もできないし。一度スマホに替えただけど、月に8000円もかかるからガラケーに戻したけど、電話ないと困るしどうしようもない。予防接種は一度も受けてないね
40	
41	受給額をこれ以上減らされると本当に生活に困ってしまう。まだ若いので生保を抜きたいとは思っているが、これ以上減らされると不安ばかりで精神的に気持ちが沈んでしまう
42	ない
43	一人暮らしは初めて。(2月に夫が亡くなったばかり)
44	与えられたもので生活していくかない。働けるものなら働きたい。ハローワークにも行ったが、年齢や病気があるため求人はないと言われた。好き好んで生保を受けているのではない。辛いです
45	特になし
46	
47	生保が無くなったら困る。不安
48	特になし
49	収入があればその分車を運転したい
50	なし
51	生活上でどうしても必要なものは免除してほしい。NHKは免除だがNHKは見ない。水と電気だけは何とかしてほしい。無駄を減らしてほしい。出すところに出してほしい。不公平感ある。生保でお酒飲んで働かない人。もっと厳しくすべき
52	歩けなくなったらどうしようと思う。体のこと心配
53	足がないので出かけるのをためらう。心臓を患っているので自転車も厳しい。部屋の中にはいってはだめ、出かけないと考える。必要な時に車の使用できるとよい
54	
55	
56	訴えはない。一人でいることの淋しさがある
57	過去の基準に戻ってほしい(冬季加算、家賃基準)
58	特別給付金があっても制限がかかって支給されない。年齢制限を付けずに支給してもらえたらありがたい。毎日ご飯を炊きたい(炊き立てを食べたい)。現実には電気代節約の為毎日炊けない。何を基準に保護費を決めているのか?ほかの手当てが出てその分保護費が削られてしまうので本当に大変(母子手当)
59	タクシー代が大変。手続きが難しい
60	
61	本当に国には感謝している。だけど欲を言えばもう少しお金がほしい。お金が増えればもう少しゆとりある生活を送れるため
62	こんなギリギリの生活はしたくない。老後は楽しく過ごしたいが老後が心配。もっと頻りに訪問してほしい
63	特になし
64	減額などはいつも一方的に通知が来るだけなのでやるせない
65	このままでいいです

その他コメントがあればご記入ください (感想、訴え等)	
66	足を悪くして2F→1Fに引っ越した。家賃も上がり、2Fの部屋のクリーニング代が6万くらいある。今は1万ずつ返している。それが少しね…、とお話しをされました
67	生活保護費の前借があればいいと思う。冠婚葬祭など断ることが辛い。お金がないために
68	
69	これ以上減額されると生活できない
70	市役所の担当に言いたいことがあっても言えない。頭を下げてお金をもらっている立場なので嫌われたくない。困るから。月10万5千円生活保護でもらっているが足りない。もっと(あと1万くらい)増やしてもらいたい。家賃4万円、光熱費3万円、食費2~3万円、薬代7~8千円、使ったら手元に残らない。(塗り薬、貼り薬は病院のものが合わないので自分で薬局で購入している)。火災報知機?が付いているが電池が切れている。電池を買うお金もない
71	
72	特に衣服に使える分の金がほしい
73	話を聞いてもらえるのはありがたい。市の人が来て世間話で終わってしまう
74	
75	
76	若い人の方が保護費が高いが、働けない高齢者の方が生活に困っているのになぜ若い人の方が多く支給されるかが疑問。長野は物価が高いのでもう少し保護費を高くしてほしい 通院にかかる費用は自己負担なので通院費が高くなると生活費に回すお金の余裕がなくなる。生活保護や年金受給者を対象に病院で送迎してほしい
77	引っ越したくても今ある家電(使用できない冷蔵庫)や家具を処分する費用がないため引っ越せない。金額が増えてほしい
78	お墓参り、北陸にあるが旅費がかかるのでいけない。以前住んでいた関西地域に友人がいるので会いに行きたいと思うこともあるが、交通費などのことを考えるといけない
79	なし
80	交通の不便さあり。都会は交通の便が良いのに支給額が高い。地方は交通の便が悪いのに支給額が少ない。逆だと思う
81	車に乗れないと不便でダメ。バイクにも乗るが転倒したことで恐怖がある。比較的近くにバス停はあっても、本数は少なく、待っている間に体調不良になることもある
82	
83	警沢をしなければ生活はできる。しかし全くお金が残らないので、何かの時には困るので不安です。もう少し余裕ができればいいけれど。民生委員が一度も来てくれないが、相談をどこにしていけばいいのか
84	
85	インターフェロンについては、治療について市役所の担当者がやたらと副作用がかなりつらいなど言ってくる。高額薬剤のためか
86	我慢していると思うとしんどくなるから自分で生活水準を下げて、「自分にはこの程度の生活が相応しいんだ」と思うようにしている
87	働く意欲はある。資格をとってもすぐに仕事があるわけではない。今助けてもらっている分をどう恩返しできるか。他の辛い人に道しるべになれるように今の時間とお金を使っていきたい。今は社会と隔離されて孤立感がある。社会とどうつながっていくか
88	投げやり。どうにでもなればいいと思っている。人とのコンタクトを好まない。世間がうざい。金にしばられない世の中にしていくべき。俺はまだいいほう。1人でこのうとうとしているから
89	
90	今の内職で15000円以内の収入だと生活保護からは引かれられない。お金がないと3日くらい落ち込むが、そのうち何とかかなという気分になる。その繰り返し
91	お金はできるだけ減らさないでほしい
92	

その他コメントがあればご記入ください (感想、訴え等)	
93	生活保護者バッシングひどいが実情知らない人たち。自分たちもボーダーラインにいて困っているのに受けられないためかも
94	生活保護を受けている人が、受けたくて受けている人ばかりではないとわかってほしい。いやだと思っても生活が送れずやむを得ず世話になっている。負い目を感じる。もう少し生活のことを考えて利用しやすいものになると良いと思う
95	
96	友人と仲良くしている
97	終了後、担当ケアマネと相談。お金が入った直後は良いが、だんだん食事が苦しくなってくる。セーフティネット・アルプスなど、食料支援の機会があれば教えてほしいとのこと。今後連携をとっていきたい
98	国民年金は安い。年金50000円+生保18000円。一人暮らしなので人様に迷惑をかけないように生きている。いろいろと困ることもあるけど助けてくれる人もいるので助かっている。 家計についてのメモ：米 味噌は田んぼを手伝いその代わりにもらっている。野菜は作っているが近所からもらうこともある
99	なし
100	冬はストーブがなく、とても寒い
101	シルバー登録している。福祉施設アシスタント講習を受講したが仕事がない。生保とご主人の障害年金があり1人暮らしなので今は少し余裕がある。娘さんが近くにいるが「どうしている?」などの電話もあまりかかってこない。会うとお金をせびられるのであまり会いたくないと。夫と同居しているときは具合が悪くなると病院までの交通費などかなり大変だった
102	
103	特になし
104	福祉の方へ言いたい!!どうして減額になったか、どうして減らされたかわからない。娯楽費用を使うと怒られる。部屋に閉じ込められている感が強い。連絡方法がない、連絡しないと怒られることも多い
105	2女は収入があるが、家にはお金を入れられない。自活も現段階では難しい。3女は離婚調停中。養育費なし。母子加算もない。39000円/月が手元に来るのみ。生活は厳しい
106	自分が死んだら息子は市住から出て行くように市の人に言われた
107	文化的な生活を保障するというのは嘘だ
108	保護費だけでなく年金も徐々に減ってきている
109	
110	人に迷惑をかけたくない。税金をつかわせてもらっているので警沢は言えない。デイサービスへ行って工作をしたり、外で写真を撮ったり、職員との会話を楽しんでいる
111	
112	病院の人たちが頑張ってくれている
113	知りあいが入院している。元気にしているか気になりました
114	
115	自分の判断に後悔する事が多い(高額な服を購入など)
116	保護費をなぜ下げるのか、理由をちゃんと知りたい。最低賃金を上げればいい話。格差を感じる。好きでもらってるわけではないのに、なぜ理解されないのか。声を上げても伝わらない。伝えて欲しい
117	文化的な生活を営む権利があるのに。権利だと思えないけど
118	
119	金銭的にも精神的にも縛られている。余裕がなく、意欲が無くなる。生保の規定や額は時代や物価に合わせて変えるべき。以前は家賃の補助など生保以外にも段階に合わせた支援があったのに、なくなった。皆一律なのはおかしい
120	食べたいものも買えない。物価が高い。保護費が出る前には切り詰めている。1日300~500円、使っても1日1000円
121	

その他コメントがあればご記入ください（感想、訴え等）	
122	
123	生活保護費を上げて欲しい（物価が上昇している）
124	ありがたい。感謝
125	仕事をする前は反貧困ネットワークなどへ参加出来ていた。仕事を始め、行きづらい
126	もう少しあげてもらいたい。貯金したい。何があるかわからないから
127	
128	生活保護の人からは消費税をとらないでほしい。年金がもっともらえるといい。年金だけでは食べていけない。この調査の結果が社会に反映されているのかどうかわからない
129	生活保護はダメだ。これを受けたら抜けられない。交通事故にあった時にもらった賠償金も返還しなければならず、毎月2000円払っており、最終的には24万円返還しなければならない。何十年も弱い人間には何も出ない。とても言えない言っても到底届かない。自分たちにとってありがたい人は「何かしてくれる人」こういうことをやってくれる人がいなければダメだ。この結果を上手く使ってもらいたい。今の政府ではダメだ
130	首相を呼んで話をしたい。国会議員は頼りにならない。直接、首相と話したい
131	
132	ヘルパーさんが来てくれるから助かる。もっと増やしてほしい
133	一般的にこういう仕組みがあるということすら知らない。入退院を繰り返すと、仕事ができず、収入がなくなってしまう。世間にもっと知られることが大切。後ろめたい気持ちは多かったが、今は年金をもらい気が楽になった
134	
135	不正受給している人の話を聞くと肩身が狭い。・気持ちがすさぐ時がある。・最低の生活を維持していない人に使われていないと思う
136	妻が歯医者に行き、帰れなくなった。それが心配
137	
138	毎月光熱費を気にしながら生活をしている。世話になってるものであんまり行政には言いづらい
139	もうちょっと生活保護費を増やしてほしい。食べるものも減らしているくらいだから余計に。一日一日ただ生きてるだけ…。生活保護になってから人とのつながりが全くなかった。生保と聞くだけでみんな離れていく。裕福な生活から一転、まさかこんな生活をする事になるとは思わなかった
140	
141	いろいろな人とたくさんおしゃべりができるだけでうれしい。子供2人と会いたいとは思いますが、現実が厳しくあきらめている
142	特になし
143	子供が小学生であれば制服もなく、いろいろおさがりのなことで何とかなるが、中学生になると制服になり、カバンなどもどうしていいか悩む。高校ぐらいはいつてもらいたいと思っているがお金を心配する。母は90歳、葬式があったらできるか悩んでいる。相談する相手もない。働きたくても車もない。年齢的には仕事もない
144	
145	もらっている金額内で生活するようにしている。以前住んでいた関西地域に友人がいるので会いに行きたいと思うこともあるが、交通費などのことを考えるといけない
146	
147	
148	申請を出して受給を受ける時までには隅々まで説明をしてほしい。受給がはじまってからいろいろなことを知ることが多すぎる
149	しっかりしたいと思う

その他コメントがあればご記入ください（感想、訴え等）	
150	
151	ない
152	地域差が大きい
153	介護費などの差が地域で大きい
154	
155	車を使えないことが一番つらい。受診以外でも使えるとありがたい。安い灯油を買いたいが、スタンドが遠い。重いものを持って帰るのは無理。食料品はそうそう買い物にも行けないので、どうしても干物や缶詰など、日持ちするものになってしまう
156	病院の相談員を頼っている。でもあまり頼ると愚痴を言ってしまうから控えている。今のところに移れて本当によかった
157	
158	なし
159	なし
160	生活で不安を感じることはない。ふつうの娯楽を子どもがしていると不足になる。子どもにかかるお金が足りない。車を持ってないのが不満。レンタカーもだめなのは不満。人数多いときはその方が安い。お手伝いするとお菓子を子供にあげる。子どもたちの進学は、行きたいと言えば行ってよい。長女は家を出たいから働きたい。パソコン3台、全員スマホ。インターネットは村が引いている。安い
161	
162	
163	ない
164	現状で良いので楽に生きていきたい。今はいいが、これから息子がどうなっていくか、しっかりするのか？心配している
165	食費が足りないのもう少し受給額をあげてほしい
166	多少年金をもらっているので生保をとるか働くことをとるかずっと悩んだ。体さえこんな状態にならなければ生活保護に頼ることもなくてすんだのに
167	
168	オムツ代を出してほしい。通院の時に主治医の申請が大変。福祉課にお金が足りないと伝えると、家計簿を出すように言われた。生活保護を使っているとグループホームに入れなかった
169	
170	
171	1万でも2万でも高いほうがいい。ぎりぎりだから。前の残りを払って、今月の分が残り、また来月に入る
172	国からの一時金が生活保護費からひかれて支給されていた…どうなっているのか？ 服も靴も本当は買いたいが買えない。生活保護の制度はありがたい。なる一歩手前が一番苦しかった。今後も病院にお世話になるが困っていることがあれば相談してもいいでしょうか？なかなか相談しやすい相手がいらない
173	特になし
174	生保でも車に乗りたい。車に乗れないと困る。本心を言えば、額が少ない
175	
176	特にない。ヘルパーさんが買い物してきてほしい。自転車で行くため店が遠い
177	働いても保護費が減らされるだけで意欲がわいてこない。会社より、せめて3カ月に1度もらえる追加工賃（約3万円）はそのまま自分に全額もらえるようになると嬉しい
178	
179	
180	病院のそばに転居したい（通院負担軽減のため）

生活保護受給者の事例

【事例1】常に周りを気にしての生活

自分が生活保護を受ける前は、パチンコ屋で生活保護の人と会えば「なんでこんなところにいるんだろう」と思っていたという50代のAさん。長年土木関係の会社に勤務していた。若いころは遊びに遊んでいたとのこと。お金もほとんど貯まることはなかった。

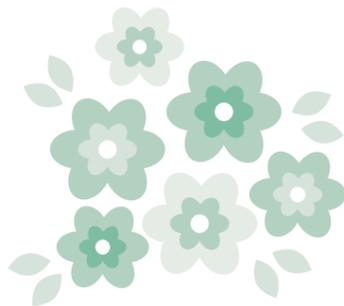
数年前に会社が廃業、雇用保険の給付を受け、それが終わると土木関係のパートの仕事に就いた。その頃、同居していた母親も介護が必要な状態で、正職員で働く時間はなかった。

その母も病に倒れ他界。1人暮らしになり正職員として仕事を始めた矢先に自分が病で倒れた。心疾患でペースメーカーを入れた。すぐに仕事ができず、自分で生活保護の申請に行った。現在は生活保護を受け、最近は授産所にも通い始めた。

生活状況は、基本的に「節約」だとAさんは言う。入浴は週に数回。食器はなるべく水で洗う。エアコンは朝・晩の寒い時間のみで、あとはこたつで暖をとる。衣服は数年購入していない。いつも数百円くらいがいいところ。3000円にもなればAさんにとっては手が出ない。「国の世話になっているから強くは言えない。若いころ馬鹿やってたから仕方がない」と思っている。

また、医療費の支払いも、他の人はしていくのに自分だけ支払いをせずに処方箋をもらっていくことに抵抗を感じてしまう。実際に言われたわけではないが、周囲の人が何か思っているのじゃないかと思う。常に周りを気にして生活をする状況である。

できれば、たまにはぜいたくをしたい気持ちもあるし、携帯もスマートフォンにして情報を集めてみたいと言う。Aさんの希望は、私たちが考えるごくごく普通のことではないだろうか。心に余裕を持ちたい。Aさんの切実な声である。



【事例2】「人に迷惑はかけたくない」と悩みぬいての申請

65歳のAさんは長野県出身で、地元の高校を卒業後、県外の大学へ進学。卒業後は大手広告代理店の営業部長や工場長を勤めるなど、責任のある立場で仕事をしてきた。やがて経験を活かして独立。自営業で長年頑張っていたが、不景気により会社の経営が傾き始め、「これ以上は迷惑をかけてしまう」と自ら会社を閉めた。その後、残った資産で何とか再起を図ろうと努力するも、詐欺行為に遭い、残った資産の大半を失う。その過程でうつ病を発症した。症状に苦しみながらも何とか自力で生活しようと、アルバイトなど仕事を続けながら生活していた。

病院の受診中断係の働きかけにより受診をした際に、「医療費が支払えなくて受診できなかった」という話があり、SWが初めて関わった。生活状況を聞く中で、借金や詐欺行為により生活困窮があり、腰痛などの身体症状がありながらも夜勤の仕事を続け、身体的に無理をした生活を送っていることを確認。困窮の状況から生活保護申請を提案したが、「人に迷惑をかけるわけにはいかない」と当初は希望しなかった。そこで、無料低額診療事業で受診機会を確保しつつ、借金の整理など生活問題の支援を開始。その過程で腰痛の原因が悪性疾患と判明、Aさんは「仕事をしなければ生活できない」と最後まで悩んだ上で、休職して生活保護を受けながら治療をする道を選択した。

「今は生活保護を受けるしかないのでお世話になるが、身体を良くして、1日も早く自分で生活できるようになりたい」Aさんが生活保護を申請する際に言った言葉である。その後も本人はさまざまな場面で「また仕事をして自立したい」と語っていた。

生活保護決定後、住んでいた借家が高額家賃住宅に該当したため引っ越しを検討する事態に直面する。本人は「今の借家には昔の商売道具がある。引っ越しするとこれだけの荷物を置く場所はない。また仕事をするためにも、引っ越しはできない」と、生活扶助から追加で家賃を払いつつ、「何とか引越しをしなくても済む方法を考えたい」と、生活保護担当のケースワーカーと何度も相談をした。しかし、ケースワーカーの返答は、「とにかく、私の言ったことは正しいんです！」というものだった。

Aさんは悩んだ末に引越しを決意した。SWも引越し支援のため借家を訪問したところ、そこには昔の商売道具が大切に保管されており、それを処分することには葛藤があったが、「また気持ちを新たに頑張ろう」と、別のアパートで生活を始めた。その後も、責任感が強く真面目なAさんは、知人の義理ができた際は「お世話になった方だから」と、水以外のものを口にしない日を何日も続けるなどの極限を超える切り詰め方をしてまで香典を出す、借金で自己破産をした際も「お世話になった病院の分まで迷惑をかけられない」と病院に残っていた未払い分を申告しないなど、切り詰めた生活を続けた。

Aさんは「また自立したい」という思いを持ち続けながら病氣と闘い続けている。民医連の生活保護実態調査の中で職員に「生活保護を受けている人が、受けたくて受けている人ばかりではないとわかってほしい。嫌だと思っても、生活が送れず、やむを得ず世話になっている。負い目も感じる。もう少し生活のことを考えて利用しやすいものになってほしいと思う」と語っている。

生活保護バッシングの背景がある中で、孤独とさまざまな葛藤を抱えているAさんの言葉は、受給者の切なる願いである。社会的要因から生活課題を抱える人が、課題を解決し生活自立を目指すことを支援するための生活保護。その中身が、真の意味で自立を支援する内容になってほしいと、改めて感じた事例である。

【事例3】自分の居場所を見つけた青年

40歳代前半の男性。幼い頃に両親が離婚し、父と弟との暮らしとなった。父親は働いておらず飲酒とパチンコ通いで子育て困難のため、本人は児童養護施設に入所となる。

施設で過ごし中学卒業後はゴミ収集の仕事に就き、アパートでひとり暮らしを始めた。3年ほど仕事を続けていたが、アパートに施設の子どもが集まるようになり近隣からの苦情もあって転居となる。製造業の社員寮に入り2年間働いたが、会社の経営不振で退職。派遣会社に登録し、県内外問わず転々とさせられた。その後はホテルで住み込みで働くが退職し失業保険を申請。アパートの家賃も払えなくなり公園で寝泊りしながらハローワークに通い、求職活動をしていた。

ハローワークでSOSネットワーク相談会を紹介されたことを機に、生活保護申請となる。就職活動を続けるがなかなか上手くいかず、本人もなぜ仕事が長く続かないのかと悩む中で関連機関とも相談し、福祉の制度につながった。本人から「少し安心した」という言葉も聞かれ、関連機関への繋がりも出てきた。

生活保護利用後も経済困窮、隣人関係のトラブル、就労へのプレッシャーから精神的にも不安定になりやすく、幾度も顔なじみの相談室へ足を運んで胸中を吐露した。

生活は、昼間は散歩をしたり、インターネットでYouTubeをみたり音楽を聴いて過ごすことがほとんど。お風呂はガス・水道代を節約のため短時間のシャワーのみ。血圧が高いため3食バランスの良い物を摂るように言われているが、食費節約のため賞味期限が近くなった惣菜パンや手軽に食べられるインスタント麺を購入している。生活費がぎりぎりの中で本人なりに工夫もしているが、食費を削るしかない状況となっている。

現在は地域の居場所作りの活動に毎回参加している。取り組み当初は生活苦から他者と関わる余裕がない状況だったが、今では活動の中心となり参加者を気にかける、気遣うという変化もあった。精神的なストレスが身体症状に表れやすく、医療スタッフ、関連機関とも連携しながら関わっている。病院を受診した際は相談室へ顔を出して近況報告をするなど、精神面の安定も図れている。

幼少期の生活歴から、本人の努力だけではどうにもならない状況が生みだされてきた。働き続けたくても派遣雇用などの社会的要因や障害による働きづらさによって、安定して就労することが困難な状況があった。どこかに頼る、相談するすべも知らず生きてきた。現在も生活困窮が本人の精神面の不安定さにつながり、厳しい状況が続いている。「生活保護を受けたくて受けているわけじゃない。やりたいこともできない」という言葉もあり、生活保護に対する世間のイメージが文化的な生活を営む上での阻害要因となっているとも感じた。

丁寧な関わりが生活保護対象者全員に必要な状況ではあるが、社会背景は複雑化しており対応に追われ、個別の関わりが十分に出来ていない福祉の現状も痛切に感じている。

【事例4】育ち盛りの男の子2人を抱え、その日の暮らして精いっぱい

トラック運転手をしていたAさんは、60歳を過ぎてから髄膜炎で入院した。仕事ができなくなり、年齢のこともあってその後も仕事は見つけれず生活は困窮した。家族は、母親、妻、2人の息子さんは就学前だった。役場に相談し生活保護受給開始となった。

現在、Aさん67歳、妻45歳、長男12歳、次男10歳、母親90歳。世帯の収入は、保護費と妻のパート収入（月4万円）、母親の年金（月3万円）の生活である。2か月に1度の子ども手当は貴重な収入となっている。

普段の生活は、野菜は日持ちがするように漬物にし、鶏肉や魚のあらなど安いもので食費を抑えている。食事内容は、ごはん、卵、漬物が中心である。子どもたちのおやつは100円ショップで買っている。入浴は、夏はシャワーのみで、冬もなるべく回数を減らしている。電化製品は知り合いからもらったり、リサイクルショップで購入している。

生活はすべて子ども優先で、成長する子どもたちの靴を購入、散髪代、入浴は大人が回数を減らしている。唯一の楽しみは、子ども手当が支給されたとき、車を借りて家族で旅行に行くことである。

来年、長男は中学入学を控えている。今の一番の悩みは、中学校の制服・カバンの費用をどう工面するかである。「高校ぐらいいは出してあげたいと思うが、こういう悩みや不安を誰に相談したらいいかわからない」という。

生活保護を受給してよかったことは、医療費の心配をしなくていいことである。しかし、今の生活では夢が持てず、毎日不安を抱えている。その日の暮らしが精いっぱい、子どもたちも、自分たちの暮らしぶりを友達には話せない。

調査から、「生活に夢もなく、毎日不安をかかえている」実態を知った。日本国憲法は私たちの権利を保障している。今の制度が、社会が、権利を守っているか、権利が侵されていないか、主権者は私たちだと声を上げていかなければいけないと思う。

【事例5】車を持ち続けられなかったAさん夫婦

Aさん夫婦は、長年地元を離れて都会で生活をしてきた。夫婦2人で会社勤めをしたり塾を経営したりして子どもたちを育て上げた。Aさんはとても熱心に子どもに関わる塾の先生だった。子どもが抱える社会問題に目を向け、その問題を新聞に投稿して発信していくような人である。夜遅くまで働いたが、少子化やバブル崩壊後の不況を受け、徐々に生徒は減っていった。

そんな中、Aさんは体を壊した。精神疾患を患ったのだ。生活保護を申請し受給した。大事にしてきた塾だったが、続けることはもう無理だった。自分の子どもたちはすでに家を出ていた。子どもたちにも障害があったり、配偶者が病気を抱えていたり、仕事を探していたりとそれぞれ自分の生活を支えるのが精一杯な状況で、頼ることはできなかった。Aさんは妹を頼り、出身地に夫婦で引っ越してきた。

地元へ戻ったAさんは生活保護を受給せず、できる範囲で執筆活動をした。塾を開くことも考えたが軌道に乗せることは困難だった。奥さんは義妹のつてを頼って仕事に出た。仕事を継続するにしても、田舎で生活していくには車があるだろうと、極めて安値で車を譲ってもらった。しかし、奥さん自身も体調が万全ではなく、慣れない土地での慣れない仕事は上手くいかなかった。年金と奥さんの収入とAさんの執筆で得たお金で暮らしていたが、Aさんが脳梗塞を発症し、杖がないと歩行できなくなり、介助が必要な状況となった。

再度、生活保護の申請をした。仕事をするにしても、通院するにしても車がないと身動きが取れない土地である。車を保持したままの生活保護申請はむずかしかったが、認められた。奥さんは可能な範囲で仕事に出かけ、Aさんは奥さんの運転する車で病院に通うことができた。

しかし、その状況は長く続かなかった。車検を通す費用を捻出することができなかったからだ。車検があるからといって生活保護費が増えるわけではない。何とか車検費用を捻出したいと思ったが、毎月の限られた生活保護費の中で車検費用をまかなうことはむずかしかった。車を手放すことで、奥さんが動きに出ることはなお一層困難な状況となった。

それから数年が経つ。Aさんは車いすの生活を送っており、奥さんは自宅でAさんを介護している。Aさんはデイサービスやデイケアに通っている。奥さんは以前はコーラスなどに知人の車に乗せてもらって出かけることもあったが、最近は「テレビが何よりの楽しみ」と話して家にいることがほとんどだ。生活保護は車の所有を認めた場合でも、使用の制限を設ける。そのまま車を所有していたからといって自由に乗れたわけではない。しかし近所の同じ年代の人たちは、まだ車の運転をして動き回っている。そんな当たり前の状況が周りにある中で何を思われるか、奥さんに聞くことはできない。

実態調査報告へのマスコミ報道

生活保護受給者 厳しさを浮き彫り

教養・娯楽費ゼロ 38% 理美容室利用年0回 26%

冬季加算 減額の影響指摘も

タカタ製エアバッグだけが 国内最大 ホンダ車で異常破裂

SHAT TEAM HOGO

「信濃毎日新聞」 1月18日付

食費1日2回以下27%

生活保護受給者食費調査

食費削減の影響も指摘

「中日新聞」 1月18日付

信州 信州前線

生活保護世帯 過去最多

娯楽費ゼロ、世間から孤立

「毎日新聞」長野版 1月29日付

三衆夫人隊の参加者募集

来月チケット発売

樹木葬

「産経新聞」 1月30日付

生活保護受給者 180人聞き取り

満足する食事3割しかできず ■被服購入も控え…

保護費削減 厳しさと一層

「生存権取り戻したい」

長野県民連が「生活保護受給者の実態調査」を行った。調査対象は180人。調査結果は、生活保護受給者の生活が厳しくなっていることが明らかになった。特に、満足する食事の摂取が3割に満たないことや、被服購入を控えていることが目立った。また、保護費削減の厳しさが、生活の質を低下させていると訴えている。受給者からは「生存権を取り戻したい」という声も聞かれた。

「しんぶん赤旗」 1月22日付

社説

削減しつぱなしでなく

生活保護

生活保護受給者の生活は、削減しつぱなしでなく、生活保護のあり方を再考する必要がある。生活保護は、生活困窮者を救済するための制度であり、その趣旨を踏まえ、生活保護のあり方を再考する必要がある。生活保護の削減は、生活困窮者を救済するための制度であり、その趣旨を踏まえ、生活保護のあり方を再考する必要がある。

「信濃毎日新聞」社説 1月23日付

長野県民連が生活保護受給者の実態調査 “受給者の「尊厳」傷ついている”

調査3度目でより深刻に

調査対象者の状況

調査対象者180人(180名)のうち、男性103人、女性77人(42.8%)。年齢は平均66.7歳(24歳～90歳)。世帯構成は、60歳以上の世帯106人、18歳以下がいる世帯11人。

調査結果の概要

満足する食事の摂取が3割に満たない。満足する食事の摂取が3割に満たない。満足する食事の摂取が3割に満たない。

生活保護申請のきっかけ

病気やけがが104人、認知症が13人、高齢の介護が4人。

削減された生活保護費

削減された生活保護費は、生活保護費の削減による。削減された生活保護費は、生活保護費の削減による。

家賃が基準を超過している人の理由

家賃が基準を超過している人の理由は、家賃が高すぎる、生活保護費が足りない、生活保護費が足りない、生活保護費が足りない。



「民医連新聞」特集 2月6日付

生活保護制度を学び深めよう

そもそも「生活保護制度」って？

生活保護は 憲法25条の生存権を保障

憲法25条

すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

生活保護法 第1条 制度の目的

「この法律は、日本国憲法第二十五条に規定する理念に基き、国が生活に困窮するすべての国民に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする」

戦後たどり着いた 国民主権 平和主義 基本的人権の尊重 が原則として貫かれた憲法。その基本的人権として定めた「健康で文化的な最低限度の生活を保障する」ことが生活保護法の目的なのです。

生活保護の原理

- ①国家責任の原理：生活に困窮する人に対し、憲法25条に規定する生存権保障の理念に基づき、国の責任において保護を実施する。
- ②無差別平等の原理：国民は、生活保護を受けるための要件を満たせば、無差別平等に生活保護を受けることができます。生活困窮に陥った理由は問われません。
- ③最低生活保障の原理：生活保護において保障する最低限度の生活は、健康で文化的な生活水準です。これは憲法第25条の規定を踏まえたものです。
- ④補足性の原理：利用できる資産、能力その他あらゆるものを活用してもなお最低生活が実現できないとき、最低生活に足りない部分を補います。

生活保護の原則

- ①申請保護の原則：生活保護は申請に基づいて利用が開始されます。申請は、保護を必要としている本人、その扶養義務者、その他同居の親族です。なお、保護を必要とする者が急迫した状況にある場合は、保護の申請がなくても必要な保護（職権保護）がなされます。
- ②基準及び程度の原則：生活保護の基準は厚生労働大臣が定めます。生活保護はこの基準に基づき算定され、支給されます。
- ③必要即応の原則：生活保護は機械的、画一的に運用されるものではなく、保護を必要とする者の年齢、性別、健康状態など、その個人や世帯の事情に応じて有効かつ適切に行われます。
- ④世帯単位の原則：生活保護は、同一の住居に居住し、生計を一にしている者を同一世帯として認定し、その世帯を単位にして保護の要否や程度を判定します。

この生活保護は最後のセーフティーネットであり、ナショナルミニマムと言えます。生活保護基準は最低賃金や就学援助等様々な生活保障の基準となっています。

その基準は、長野市や松本市居住の70歳以上一人暮らしの場合、生活費67460円、家賃上限36000円、上田・飯田・伊那市・箕輪町・下諏訪町等は、生活費62960円、家賃上限31800円と定められています。家族4人(夫婦、小学生、中学生の場合)は長野市・松本市は生活費171940円、家賃上限47000円で、上田市等は生活費163420円、家賃上限46000円となっています。

現在、この生活保護利用者は216万人（2016年3月）で、その半数が高齢者です。

日本では人口の1.6%しか生活保護を利用しておらず、先進諸外国よりもかなり低い利用率です。しかも、生活保護を利用する資格のある人のうち現に利用している人の割合（捕捉率）は2割程度にすぎません。残りの8割、数百万人もの人が生活保護から漏れているのです。仮に日本の捕捉率をドイツ並みに引き上げると、利用者は717万人になります。

2012年に入ってから全国で起きている「餓死」「孤立死」事件発生の背景には、生活保護の利用率・捕捉率の低さが影響していると考えられます。

そんな中、生活保護制度はここ6年ほど前から、老齢加算の廃止、生活基準を3段階の切り下げ、住宅扶助の引き下げ、冬期加算の引き下げが強行されました。それは、実質この国の最低生活基準（ナショナルミニマム）が国民の合意もなく引き下げられたこととなります。



日本の生活保護における「不正受給」とは

◆芸能人へのバッシングをきっかけに

生活保護の「不正受給」という言葉を聞くと、2007年の北海道滝川市の元暴力団員による生活保護費の詐取報道や、2012年の芸能人家族の生活保護受給報道を思い浮かべる人も多いのではないだろうか。

どちらも「不正受給」という言葉を用いて報道されたが、両者には大きな違いがある。前者は悪意を持って行われた名実ともに不正受給に該当する内容であるが、後者は民法上の親族の扶養義務を拡大解釈して不正受給としたに過ぎず、生活保護申請は正しい手順で行われ、法的に不正受給に該当する内容ではない。しかし、後者は一部の国会議員やマスコミの作為的な報道により、生活保護バッシングが活発化するきっかけとなった。

あれから4年が経ち、「不正受給」という言葉が日常的に浸透し、インターネットで「生活保護」「不正受給」と検索をすると、何十万件という結果が出てくるようになった。輪をかけるように日常的に「生活保護受給者が過去最大」「不正受給の件数が増加」等の報道がされているが、現在の日本の生活保護が直面している問題を考える上で、国や大手マスコミの報道では知らされない生活保護の実態に目を向けることが重要である。

◆必要とする人が受給できない実態

各報道では「生活保護受給者が過去最大」という内容に加えて「不正受給者も過去最大」という内容を合わせて報道することで、『生活保護受給者が増えているのは不正受給が増えているから』という印象を与えるような報道がされている。

しかし、実際の比率を見ると、不正受給は件数ベースで1～2%、金額ベースで0.4～0.6%で推移しており、全体の比率は変化していない。比率が変化していないにもかかわらず、件数や金額が増加するという事は、生活保護受給者数自体が増えているということになる。

加えて、日本の生活保護の捕捉率（保護基準に該当する人に対して生活保護が適用されていることを示す割合）は20%以下で推移しており、捕捉率も変化していない点に注目してほしい。生活保護補足率が20%以下という数値は、イギリスやドイツ、フランス等の先進諸国の70～90%に比べて大幅に低く、本来必要とする国民に必要な支援が行われていないことを示しており、この事自体が大きな問題である。

補足率が変化していないに関わらず、生活保護受給者数が増えていることは、それだけ貧困層に該当する国民が増えている、国の貧困が一層深刻になっていることを示している。

◆意図的に流される「不正」報道

もう1つ大切なこととして、「不正受給」とされている2%の受給者の実態にも目を向けてほしい。

先の滝川市の事件のような悪意のある所得隠しや申告の不正、生活保護ビジネスに基づく不正受給は法律に基づいて然るべき対応がされる必要がある。しかし、実際はこのような悪質なケースは稀であり、「不正受給」とされているケースの多くは、「高校生のアルバイト代も収入申告しなければならぬことを知らなかった」「本人も忘れていた預貯金や資産があり、それを申告していなかった」など、周知や把握不足による申告のミス等が「不正受給」として取り扱われている実態がある。

このような実態は報道せず、「生活保護受給者が増え、不正受給が横行している」ように見せかけようとする報道の背景には、社会保障費削減を目的とする国の作為的な意図があることを知ってほしい。

◆バッシングは社会保障費削減の装置に

生活保護バッシング報道のあと、同様に生活困窮に直面しているワーキングプアの就労者や年金受給者から、「生活保護受給者は楽できて良い。自分たちはこんなに頑張って苦しい生活しているのに、不正に楽をしようとするなんて許せない」という主旨の発言を複数聞いた。問題の本質は、低賃金の労働実態や低すぎる年金支給額にあるはずなのに、「自分たちの生活が苦しいのは、悪意ある生活保護受給者が税金を使っているせいだ」という感情に置き換えられていた。

こうした感情が、水際作戦の代表的な「ヤミの北九州方式」という行政の犯罪的行為も、小田原市のジャンパー事件も、行政の対応を一部肯定する意見に繋がっていると思われるが、これこそ一連の生活保護バッシングの中で国が意図していることである。

安倍政権は、「社会保障の財源が足りない」と巧みにアピールしつつ、生活保護の不正受給問題を前面に押し出し『国民の税金が不正に使用されている』『不当に得をしている人間がいる』などの感情をかき立てることで、問題の本質から国民の目を逸らし、国民を分断し、国の責任で行われるべき社会保障を自己責任にすり替えようとしている。

本来、生活保護を受けることは憲法で保障された国民一人ひとりの権利であり、それを正しく運用することは国の責任である。「社会保障費削減」「不正受給問題」の影で、数百万人の人が生活保護を受けられず、全国各地で発生している餓死事件等で悲惨な結末を迎えていることのほうが大きな問題である。

今回の小田原市の報道は日本が直面している問題の氷山の一角にすぎない。今回の報道を一過性のものとする事なく、生活保護の正しい実情を知り、「いま起こっている問題の本質は何か」、「現状の中で自分たちはいま、何ができるのか」を考える機会としてほしい。

小田原生保ジャンパー事件とは

神奈川県小田原市で60人以上の生活保護担当職員らが、受給者を威圧する文言がプリントされたジャンパーをつくり、相談業務や保護家庭訪問時に着用していた事件。ジャンパーにはローマ字で「保護なめんな」、英文で「不正を発見した場合は追及し正しく指導する」「不正受給するようなら彼らはクズだ」などとプリントされており、それ以外にもポロシャツやストラップなど数種類のグッズが作られていた。小田原市では、生活保護担当職員が不適切な表記が記されたジャンパーを着用し業務に従事していたこと等を捉え、小田原市における生活保護行政についての検証と今後の改善方策を取りまとめるため、有識者の参画を得て、生活保護行政のあり方検討会を開催。平成29年4月6日(木)、4回にわたる生活保護行政のあり方検討会での検討を踏まえ、取りまとめられた「生活保護行政のあり方検討会報告書」が、井手座長より加藤市長に提出された。

生活保護への締め付け行政

生活保護は先に述べてきたように、戦後たどり着いた憲法25条を具現化したものといえます。それまでの恩恵から権利としての生存権を等しく保障するものでした。生活保護は、権利としての生存権保障をまさにたたかい勝ち取ってきた歴史、また、生存権を締め付けられてきた歴史でもありました。

<人間裁判＝朝日訴訟>

「人間らしく生きる権利」を正面から取り上げたのが、朝日茂さんが起こしたいわゆる「朝日訴訟」です。朝日さんは、重い結核にかかり、国立岡山療養所に長期入院し、生活保護法に基づく医療扶助と月額600円の日用品費の生活扶助を受けていました。しかし、600円では、病状が悪化して病院食が口に入らないため生卵を飲むなど補食に必要なお金がなく、2年に1枚の肌着、1年に1枚のパンツでは足りませんでした。そこで、日用品費の額は憲法25条及びそれを受けた生活保護法に違反するとして、1957年に提訴しました。憲法25条1項の「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」という規定は、生存権という基本的人権を保障したものだという主張です。この裁判を支援する取り組みは、労働運動も含めた国民的な運動で、政府は1961年に生活保護基準を30%引き上げ、以後も改善が続きました。

<123号通知>

1970年代に向けて、社会保障も前進し、老人医療の無料化等も実現してきました。しかし、1980年代は福祉見直し論など第2次臨時行政調査会が設置（1981年）され、社会保障制度全体の「見直し」が着手され始めた時期でもありました。さらに生活保護も含めて社会福祉全般の国庫負担の削減も先行して行われ、地方自治体への財政負担増をもたらしていました。1980年代の生活保護は、暴力団による不正受給事件のマスコミ・キャンペーンで幕が開き、これにたいし厚生省社会局保護課は1981年社保第123号通知「生活保護の適正実施の推進について」を出して保護の「適正」実施を強力に推進し、全国の福祉事務所の現場レベルで多くの緊張関係をもたらしたのです。この第123号通知は、保護の新規申請者の全員と保護受給中の必要と思われる世帯に対し、福祉事務所が預貯金の有無などについて関係先を独自に調査できるよう、あらかじめ該当者から包括的な「同意書」を徴収して、保護の適格性に関する調査の徹底を全国の福祉事務所に求めたものでした。その後、生活保護利用者は一時期激減することとなりました。

<ヤミの北九州方式>

前述の第123号通知以来、全国の福祉事務所では「生活保護を求めても申請書さえもらえず追い返された」という事例が常態化していました。いわゆる水際作戦と呼ばれる違法行政です。

特に、北九州市は「水際作戦」が徹底され、生活保護を求めて申請書をもらえる割合が16%前後とダントツに低く、その結果、「オニギリ食べたい」と書き残して餓死した事件、61歳の男性が生活保護を断られベランダで首つり自殺した事件など、相次いで被害を引き起

こしていました。また、生活保護が開始となっても、厳しい就労指導などで辞退届を強要され、無理に廃止させられる、いわゆる「硫黄島作戦」も行われていました。北九州市では、この「水際作戦」「硫黄島作戦」を全市的に福祉事務所の運営方針の中に数値目標化しており、たとえば「申請書の交付は月5枚まで」「廃止は年5件」とノルマ化し、福祉事務所に1か月の廃止件数を競わせ人事査定をするなど、独自の保護切り捨てシステムを作り上げ、1967年から40年間で保護利用者は一気に5分の1まで激減させたのです。この陣頭指揮を31年間取り続けたのが、当時の厚生省の天下り官僚でした。彼らは、この北九州方式を全国に「生活保護の手引き」等で広めました。つまり、この「北九州方式」は、国が作り上げた全国モデルであったのです。第123号通知と水際作戦、硫黄島作戦は生活困窮者にとって、身ぐるみはがされ、差別されることが公然とされることになったといっても過言ではないでしょう。そのことが、生活保護へのスティグマ（烙印）となり、また生活保護にたどり着いた人と、そうでない困窮者との容赦ない分断にもつながっているといえます。

<生存権保障＝生活保護 をめぐって存亡をかけたせめぎ合い>

生活保護をめぐって、1980年代から「締め付け」がいろいろな形で全国で行われましたが、その生存権保障としてさまざまな裁判も起こされ始めました。

一方で、2007年からは、母子加算や高齢加算の減額廃止が進められ、全国でその抵抗する運動や裁判が広がり、「年越し派遣村」に代表された、反貧困の取組も全国に広がりました。「ヤミの北九州方式」も全国の運動になり、マスコミでも取り上げられ、生活保護改善を公約に掲げた市長の当選で一定の改善が図られました。

しかし、貧困問題はより深刻化し、貧困率の上昇や貧困が子どもに与えている厳しい現状は何ら解決されていない実態が続いています。本来は、生活保護の正しい運用が求められていますが、2012年に芸能人の家族が生活保護を利用していたという報道をきっかけとした生活保護バッシングが一気に広げられました。自民党国会議員を中心に意図的に「生活保護は恥だ」と繰り返し発言し、低賃金や低年金にあえぐ実態を逆にとり、「生活保護が高すぎる、ずるい」などと世論を誘導しました。この国のナショナルミニマム（国が国民に保障する生活の最低基準）を理解しない、意図的な生存権保障をしないという挑戦といえるでしょう。そうした国や行政の姿勢が現在も各地で徹底されているといえます。

なにかなんでも生活保護基準を引き下げたい!?

欺瞞と疑問だらけの、厚労省データ

(生活扶助基準・住宅扶助基準・冬季加算の引き下げ撤回を求める要望書・概略版)

生活扶助

●厚労省は「物価が下がったから生活扶助基準も引き下げた」と言うけれど。

<p>アベノミクスの影響で、物価は高騰。特に、生活必需品ほど上昇率が高い。総合指数 約3%強に比べて…</p> <ul style="list-style-type: none"> 食料 4.9~5.1% 生鮮食品 5.8~11.1% 光熱水道費 6.4~8.1% <p>↑ 上昇</p>	<p>厚労省が引き下げの根拠にでっちあげた指標の「生活扶助相当CPI(物価指数)」で算定しても。</p> <table border="1"> <tr> <td>2008 ▶ 104.5</td> <td>4.79% 下落=引き下げの根拠</td> </tr> <tr> <td>2011 ▶ 99.5</td> <td>5.13% 上昇</td> </tr> <tr> <td>2014 ▶ 104.6</td> <td></td> </tr> </table>	2008 ▶ 104.5	4.79% 下落=引き下げの根拠	2011 ▶ 99.5	5.13% 上昇	2014 ▶ 104.6		<p>★物価が下がれば引き下げののに、上昇しても無視するのは、一貫性無し!</p>
2008 ▶ 104.5	4.79% 下落=引き下げの根拠							
2011 ▶ 99.5	5.13% 上昇							
2014 ▶ 104.6								

住宅扶助

●厚労省は「健康で文化的な最低限度の住生活かどうかの尺度は、住生活基本計画で定められた(最低居住面積水準)でよいか?なお1/3の民間借家が未達成」と言うけれど。

<p>国の指標をないがしろに!? 国家としてあり得ない自己矛盾</p> <ul style="list-style-type: none"> 最低居住面積水準: 国が「健康で文化的な住生活を営む基礎として必要不可欠な面積の基準」として定めたもので、すべての住宅の達成を推進(国交省)。 	<p>生活保護利用者の劣悪な住環境が明らかに!</p> <ul style="list-style-type: none"> 最低居住面積水準を満たす、単身者向け民間住宅で住宅扶助基準以下の割合は13.1% 単身者の生活保護世帯で、最低居住面積水準を満たす世帯の割合は2.1% 腐朽破損有り14% 建築基準法「既存不適格」43% エレベーター無し88% 	<p>★適正な住宅扶助基準の算定は、最低居住面積水準を満たす住居の家賃水準を調査し、それに連動させることが必要。</p> <p>★住環境の改善が急務</p>
---	---	--

●厚労省は「低所得層の家賃(3.8万)に比べ、住宅扶助基準(4.6万)は高い」と言うけれど。

<p>そもそも低所得層の家賃実態との、比較自体が不当である</p> <ul style="list-style-type: none"> 最低居住面積水準を満たす住居の家賃水準を拠り所とすべき 	<p>低所得層の家賃「平均」額と住宅扶助基準「上限」額では比較として不適切である</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活保護世帯の約6割以上は住宅扶助基準額の95%以下の家賃の住宅に居住している 	<p>厚労省は不利なデータを提示せずに、議論を誘導!</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活保護世帯の住宅扶助実績は3万7088円で、低所得層の家賃平均3万8123円より低かった(012厚労省資料) 	<p>近隣の家賃相場より高額な家賃であっても、9割が「問題なし」。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「疑義有り」の家賃はわずか0.6%程度
---	--	--	---

●厚労省は「家賃CPIが下落しているのに、住宅扶助基準は据え置きだ」と言うけれど。

<p>家賃CPIは空室を含む全賃貸物件が対象で、実態から乖離</p> <ul style="list-style-type: none"> 入居成約した賃貸物件を対象にした指数では、家賃額は都区部ではおおむね横ばい、関西圏では上昇傾向 公営住宅や木造アパート等、住宅扶助基準内で入居できる住宅が大幅に減少。高家賃住宅の割合が増加して住宅費平均額も上昇。 1994→2009の住宅費平均 単身世帯 3.4万→4.6万 複数世帯 4.6万→5.4万 <p>中間層向け住宅を含む家賃CPIでは、住宅扶助基準と比較できない。</p>	<p>生活保護世帯の実態を反映していない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 公営住宅の家賃は逆に上昇傾向にある 生活保護世帯は一般世帯より公営住宅の割合が高いため、家賃下落率も小さくなる。 	<p>★家賃CPIの動向のみを過度に重視するのは、低家賃住宅の家賃動向からかけ離れ、許されない。</p>
---	---	--

★車いす生活者や多人数世帯等は、現行の基準で入居可能な物件はなく、基準引き上げが必要。
★貧困ビジネス対策には、引き下げより最低居住面積水準と連動した住宅扶助基準の運用が有効。

冬季加算

●厚労省は「光熱費の地域差は2倍なのに、寒冷地の冬季加算額は4倍以上」と言うけれど。

<p>寒冷地の暖房使用は10月~6月なのに、厚労省は冬季加算月かどうかで算定</p> <ul style="list-style-type: none"> ①冬季加算月(11月~3月) これを比較 ②それ以外の月(4月~10月) ↓ <p>②の時期でも4~6月10月は暖房を使っているため、光熱費の差が小さくなるのは当然!</p>	<p>光熱費は高騰の傾向</p> <ul style="list-style-type: none"> 光熱費は64~8.1%UP 北海道電力は家庭用電気料金を11月から10%以上値上げ 	<p>地域別の年間光熱費の実態データを比較すると…</p> <ul style="list-style-type: none"> 札幌の暖房消費量は他都市の約5倍。 灯油の年間購入量は、全国平均に比べ北海道:約4.8倍、東北:約3倍。
---	---	---

★現行の冬季加算の基準が実態と乖離しているなどとは到底いえない。
★むしろ、沖縄など温暖地には、本来、夏季加算が必要である。

- (1) 生活扶助基準について、2015年4月実施予定の引き下げを撤回し、むしろ、物価上昇に合わせてを引き上げるべき。
- (2) 住宅扶助基準及び冬季加算の引き下げは、行うべきではない。

生活保護問題対策全国会議 <http://seikatuhogotaisaku.blog.fc2.com/>
(事務局) 弁護士 小久保哲郎 / 大阪市北区西天満3-14-16西天満ビル3号館7階あかり法律事務所 TEL 06-6363-3310 FAX 06-6363-3320

(全国生活保護問題対策会議ホームページより)

あとがきにかえて—生活保護受給者実態調査2016を行って

今回で3度目となる「生活保護利用者の生活実態調査」。中には、何回目かの訪問調査を受けていただいた方々も少なくありません。過去の調査時も、調査結果を世に訴え、行政機関にも改善を求めたりしてきました。しかし、その生活の実態は厳しい状態が延々と続いており、むしろさらに厳しさが増していました。理美容や被服購入にこの1年に一度もお金を使えなかった方が約3割に増えており、一日の食事の回数も減らし、冠婚葬祭への参加もできない方が増えていました。これは、生活保護を利用していても、健康で文化的な最低限の生活保障がされていないということです。日本にはもうないとされている、絶対的貧困の状態ともいえます。そして、生活保護行政の在り方そのものが大きく反映しており、マスコミと一体となった生活保護への嫌悪感、罪悪感を抱かせる政策は、それ自体人権侵害ではないかと思われる実態でした。

誰にも起きうる病気になっただけで、職を失ったり、医療費が支払えず生活が困窮すること自体、社会保障が機能していないということであり、背後には、労働をとりまく問題、安心して医療にかかれぬ問題があります。また、年金の問題も大きく、国民年金制度は最低限の生活保障がそもそもできない設計になっていることが問題であり、先程の労働問題とも合わせて、生活保護の捕捉率の低さからも言えるように、生活保護を利用できていない生活困窮された人等との分断が持ち込まれる所以でもあります。

生活保護にたどり着くまでの経過は、そうした現在の日本社会そのものを、一人一人が背負い込み、生活ができない、時には命の危険すら感じる中で、孤独に世間の作られた目のなかで抗いながら力尽きた結果でもあります。「命は助かり、医療は受けられても」、なくなると嫌悪感とみじめな気持ちを持ちながら、人の目も、時には行政担当者からの厳しい言動にもさらされながら生活されています。最低限の生活保障もない中で、この間の生活扶助基準の引き下げが行われ、なお一層の「節約」を強いられ、それが延々と続きます。さらに、追い打ちをかけるように、住宅扶助および冬季加算の引き下げが強行されています。いまだに続いている生活保護バッシングの行きつく先は、絶対的貧困をも生み出してしまいます。現代社会では、生活がさまざまな危険にさらされるリスクが、天災も含めて高まっており、国会に提出されようとしている社会保障の総解体は社会的弱者をより困窮へと追い込むこととなります。

私たちは、あらためて訴えます。国が最低限の生活保障をする生活保護を、生存権を守る基準に戻し、利用しやすく、生活を再構築できるような運用をしていくことを求めます。厳しい生活状況を何度もお話しいただいた方々の状況を見て見ぬふりはできません。ともに生存権を手にするために私たちは、その声を代弁し、たたかい続けます。

2017年1月17日
長野県民主医療機関連合会

生活保護制度学習パンフレット
すべての人が等しく尊重される社会のために
〔生活保護受給者の生活実態調査2016〕報告

2017年6月30日発行
発行 長野県民主医療機関連合会
〒390-0803
長野県松本市元町2-9-11 民医連会館2F
TEL 0263-36-1390 FAX 0263-33-1229
